#### (12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

### (19) 世界知的所有権機関 国際事務局



## 

(43) 国際公開日 2004年10月14日(14.10.2004)

**PCT** 

## (10) 国際公開番号 WO 2004/087764 A1

(51) 国際特許分類<sup>7</sup>: C07K 16/44, C12N 15/13, 1/21, 1/19, 1/15, 5/10, C12P 21/08, G01N 33/53, 33/577

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2004/004355

(22) 国際出願日:

2004年3月26日(26.03.2004)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ:

特願2003-091663 2003年3月28日(28.03.2003)

- (71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): 京都電子 工業株式会社 (KYOTO ELECTRONICS MANUFAC-TURING CO., LTD.) [JP/JP]; 〒6018317 京都府京都市 南区吉祥院新田二ノ段町68 Kyoto (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 澤田石 一之 (SAWADAISHI, Kazuyuki) [JP/JP]; 〒6018317 京都府 京都市南区吉祥院新田二ノ段町68京都電子工業株 式会社内 Kyoto (JP). 日向野 桂一 (HIGANO, Keiichi) [JP/JP]; 〒6018317 京都府京都市南区吉祥院新田二ノ 段町68京都電子工業株式会社内 Kyoto (JP). 片岡 千和 (KATAOKA, Chiwa) [JP/JP]; 〒6018317 京都府京 都市南区吉祥院新田二ノ段町68 京都電子工業株 式会社内 Kyoto (JP).

- 代理人:河宫治,外(KAWAMIYA, Osamu et al.); 〒 5400001 大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル 青山特許事務所 Osaka (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が 可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW. BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が 可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

#### 添付公開書類:

国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される 各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語 のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: RECOMBINANT ANTIBODY RECOGNIZING DIOXIN AND GENE ENCODING THE ANTIBODY

(54) 発明の名称: ダイオキシンを認識する組換抗体および該抗体をコードする遺伝子

(57) Abstract: A novel recombinant antibody having an activity of binding to 2,3,4,7,8-pentachlorodibenzofuran (2,3,4,7,8-PeCDF); a gene encoding the amino acid sequence thereof; a vector carrying the gene transferred thereinto; a transformant transformed by

the vector, a process for producting the vector, a process for producting the recombinant antibody; and an assay method. Use of the recombinant antibody; and an assay method. Use of the recombinant antibody; and an assay dioxins, in particular, 2,3,4,7,8-PeCDF)に結合活性を有する新 conveniently and highly sensitively capture and assay dioxins, in particular, 2,3,4,7,8-PeCDF)に結合活性を有する新 規な組換抗体、そのアミノ酸配列をコードする遺伝子、該遺伝子を導入したベクター、該ベクターで形質転換され た形質転換体、該組換抗体の製造方法、該組換抗体を用いる2,3,4,7,8-PeCDFの免疫学的捕獲法ならびに測定法に関する。本発明の組換抗体を用いて、ダイオキシン類、特に2,3,4,7,8-PeCDFを、免疫学的手法によ 全感度に捕獲および測定することができる。



### 明 細 書

ダイオキシンを認識する組換抗体および該抗体をコードする遺伝子

## 5 技術分野

10

15

20

25

本発明は、2,3,4,7,8-ペンタクロロジベンゾフラン(2,3,4,7,8-P e CDF)に結合活性を有する新規な組換抗体、そのアミノ酸配列をコードする 遺伝子、該遺伝子を導入したベクター、該ベクターで形質転換された形質転換体、 該組換抗体の製造方法、該組換抗体を用いる2,3,4,7,8-Pe CDFの免疫 学的捕獲法ならびに測定法に関する。

## 背景技術

内分泌撹乱物質による環境汚染が問題となり、その汚染状況の把握やヒトの健康への影響などの調査が進められている。これら内分泌撹乱物質によるヒトや環境への影響が明らかになるに従い、日本のみならず世界各国においても重大な社会的関心事となっている。なかでもダイオキシン類については、ヒトや生態系および環境への持続的な影響が懸念されおり、汚染状況の把握や、ヒトや生態系での暴露状況の調査、摂取ルートの解明、さらには汚染箇所のダイオキシン量のモニタリングや汚染除去方法への対応が急務となっている。ダイオキシン類は、有機塩素化合物の使用、生産、燃焼などの過程で生成することから発生源が多岐に渡るとともに、土壌、水質、大気、食品、海産物などにおいて広範な汚染が確認されている。従って、膨大な生体試料や環境試料などの試料中のダイオキシン濃度を測定し、対策を講じる必要から、ダイオキシン類の簡便かつ迅速な測定方法の確立が望まれている。

ダイオキシン類には、75種類のポリクロロジベンゾダイオキシン(PCDD) および135種類のポリクロロジベンゾフラン(PCDF)からなる多数の構造異性体が存在する。最も毒性が高い2,3,7,8-テトラクロロジベンゾパラダイオキシン(2,3,7,8-TCDD)の毒性を1としたときの各ダイオキシン異性体の相対毒性が毒性等価指数として示されており、ダイオキシン類の分析においては

10

15

20

25

毒性の高い7種類のPCDDおよび10種類のPCDFが測定対象物質とされている。また、内分泌撹乱物質の1つとして以前から問題とされていたポリクロロビフェニール(PCB)のうち12種類の共平面(co-planar)PCBもダイオキシン類として測定されるようになった。

ダイオキシン類の測定は、従来、高分解能ガスクロマトグラフィー/マススペクトロメトリー(HRGC/HRMS)分析により行われていた。しかし、HRGC/HRMS法は、試料中の妨害物質を除去するために多段階のクリーンアップ操作を必要とし、分析機器が高額であり、かつ測定者の習熟を要するため、特定の分析機関においてのみ測定が可能であった。ダイオキシン類の分析方法、特にHRGC/HRMS法においては、毒性の高い17種類のダイオキシン異性体の含有量を個々に定量し、次いで各異性体の実測値に毒性等価指数を乗じた値の総和を、2,3,7,8-TCDD相当量である毒性等量(TEQ)に換算し、この換算値をダイオキシン分析値として用いている。従って、データ解析を含め被検体の分析に多大な時間を要する。これらの理由から、ダイオキシン類のより簡便で安価かつ高感度な測定方法の開発が強く望まれている。

また、特定の指標物質を測定することにより、より簡便にダイオキシン量(T EQ)を把握しようという考え方が根強く存在している。前駆体であるクロロベンゼンを測定する方法もこの1つである。近年、ダイオキシン異性体の1つである2,3,4,7,8-PeCDF量が、ダイオキシン類の総TEQと非常に高い相関性を有することが明らかになってきた(高菅ら、第11回環境化学討論会講演要旨集、136頁、2002年)。土壌、底質、大気、水質、排ガス、飛灰などの環境試料、母乳、血液などの生体試料、ならびに、海産物、食品などの広範な試料においても、2,3,4,7,8-PeCDFは、全ダイオキシンの主要構成成分であり、その含有量はダイオキシン類の総TEQとR=0.96~0.99の高い相関を示す。従って、2,3,4,7,8-PeCDFは、ダイオキシン量を把握するための指標物質として注目されている。

一方、抗体を利用してダイオキシン類を定量する試みも行われている。

例えば、特開2002-340882号公報には、ダイオキシン類の捕集ユニット、抽出ユニット、分離精製ユニット、および抗体を用いてダイオキシン類を

10

15

20

25

測定する測定ユニットの4つのユニットから構成されるダイオキシン類の測定装 置および測定方法が記載されている。

また、特開2002-228660号公報には、2,3,7,8-TCDDに高親 和性のモノクローナル抗体を作製し、これを用いてヒト血液や母乳などの生体試 料中のダイオキシン類を検出する方法が記載されている。

さらに、特開2002-119279号公報には、ダイオキシン類である複数 の異性体に対して交差反応性を有する数種の抗体を用い、ダイオキシン類の存在 量を推定する方法が記載されている。

しかし、これらの文献には、2,3,4,7,8-PeCDFを認識するモノクローナル抗体、ならびに、該モノクローナル抗体をコードする遺伝子配列、該遺伝子配列に基づく組換抗体および該組換抗体を用いる2,3,4,7,8-PeCDFの測定方法については記載されていない。

また、これら文献の方法は、試料中に含まれるダイオキシン類のTEQを把握 するには至らないという欠点を有する。

発明の開示

(発明が解決しようとする技術的課題)

本発明者らは、HRGC/HRMS法で測定される17種類のダイオキシン類の主要構成成分であり、かつ、その含有量がダイオキシン類の総TEQと高い相関性を有する指標異性体である2,3,4,7,8-PeCDFを、免疫学的手法により、迅速、簡便、高感度に捕獲および測定する方法を確立しようとした。

(その解決方法)

また、本発明者らは、これらのハイブリドーマ中に含まれるmRNAを単離お

10

15

よび精製し、このmRNAをもとにcDNAを合成した。次いで、このcDNAの中から、モノクローナル抗体Dx3860のH鎖可変領域およびL鎖可変領域ならびにモノクローナル抗体Dx3150のH鎖可変領域およびL鎖可変領域をコードするcDNAを選択するため、抗体遺伝子特有の配列を利用してPCRを行い、目的の抗体遺伝子を特異的に増幅させた。これら選択されたcDNAの塩基配列を解析し、それらがコードするTミノ酸配列を推定した。

その結果、モノクローナル抗体Dx3860のH鎖可変領域およびL鎖可変領域をコードするcDNAは、それぞれ配列番号1および2で示され、一方、モノクローナル抗体Dx3150のH鎖可変領域およびL鎖可変領域をコードするcDNAは、それぞれ配列番号3および4で示されることがわかった。

また、モノクローナル抗体 $D \times 3860$ のH鎖可変領域およびL鎖可変領域の推定アミノ酸配列は、それぞれ配列番号 5 および6 で示され、一方、モノクローナル抗体 $D \times 3150$ のH鎖可変領域およびL鎖可変領域の推定アミノ酸配列は、それぞれ配列番号 7 および8 で示されることがわかった。

さらに、本発明者らは、上記抗体の可変領域中の超可変領域(CDR1 $\sim$ 3)のアミノ酸配列およびその位置を特定した。超可変領域のアミノ酸配列を以下の表 $1\sim$ 4に示す。

表1: Dx3860のH鎖可変領域中の超可変領域のアミノ酸配列

CDR 1	Gly-Phe-Thr-Phe-Ser-Ser-Tyr-Ala	配列番号9
CDR 2	Phe-Ser-Asn-Gly-Gly-Ile-Thr	配列番号10
CDR 3	Ala-Arg-Gly-Tyr-Gly-Pro-Ala-Tyr	配列番号11

表2:Dx3860のL鎖可変領域中の超可変領域のアミノ酸配列

CDR 1	Thr-Gly-Ala-Val-Thr-Thr-Leu-Asn-Tyr	配列番号12
CDR 2	Asn-Thr-Asn	
CDR 3	Ala-Leu-Trp-Tyr-Ser-Asn-His-Leu	配列番号13

10

15

20

表3:Dx3150のH鎖可変領域中の超可変領域のアミノ酸配列

CDR 1	Gly-Tyr-Ser-Ile-Thr-Ser-Gly-Phe-Tyr	配列番号14
CDR 2	Ile-Ser-Tyr-Asp-Gly-Tyr-Asn	配列番号15
CDR 3	Val-Ser-Tyr-Gly-Ser-Arg-Arg-Gly-Val-Thr-Tyr	配列番号16

表4:Dx3150のL鎖可変領域中の超可変領域のアミノ酸配列

CDR 1	Thr-Gly-Ala-Val-Thr-Thr-Ser-Asn-Tyr	配列番号17
CDR 2	Asn-Thr-Asn	
CDR 3	Ala-Leu-Trp-Tyr-Asn-Thr-His-Leu-Val	配列番号18

モノクローナル抗体 $D \times 3 8 6 0$ のH鎖およびL鎖可変領域中の超可変領域 (CDR1~3)の位置を、DNA配列およびアミノ酸配列と共に、それぞれ図1 および図2に示す。また、モノクローナル抗体 $D \times 3 1 5 0$ のH鎖およびL鎖可変領域中の超可変領域(CDR1~3)の位置を、DNA配列およびアミノ酸配列と共に、それぞれ図3および図4に示す。

図1において、アミノ酸配列の $26\sim33$ 位がCDR1を、 $51\sim57$ 位がCDR2を、 $96\sim103$ 位がCDR3を示す。

図2において、アミノ酸配列の26~34位がCDR1を、52~54位がC DR2を、91~98位がCDR3を示す。

図3において、アミノ酸配列の26~34位がCDR1を、52~58位がC DR2を、97~107位がCDR3を示す。

図4において、アミノ酸配列の26~34位がCDR1を、52~54位がC DR2を、91~99位がCDR3を示す。

また、本発明者らは、上記抗体の可変領域をコードするDNAを発現ベクターに組込み、該ベクターを宿主細胞に導入し、該宿主細胞において組換抗体を発現させた。さらに、本発明者らは、該組換抗体を用いて、試料中の2,3,4,7,8-PeCDFを定量しうることを確かめた。また、本発明者らは、上記抗体の可変領域をコードするDNAに変異を導入し、この変異導入DNAを用いて上記のように組換抗体を発現させ、該組換抗体を用いて、試料中の2,3,4,7,8-

10

15

20

25

PeCDFを定量しうることを確かめた。

即ち、本発明は、2,3,4,7,8-ペンタクロロジベンゾフラン(2,3,4,7,8-ペンタクロロジベン)

- (1) 2, 3, 4, 7, 8-Pe CDFを認識するモノクローナル抗体Dx3860 のH鎖可変領域を構成し、配列番号5で示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド:
- (2)該モノクローナル抗体Dx3860のL鎖可変領域を構成し、配列番号6で示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド;
- (3) 2, 3, 4, 7, 8-Pe CDFを認識するモノクローナル抗体Dx3150 のH鎖可変領域を構成し、配列番号7で示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド:
- (4)該モノクローナル抗体Dx3150のL鎖可変領域を構成し、配列番号8で示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド;
- (5)上記(1)~(4)のポリペプチドのアミノ酸配列に95%以上の相同性を有するアミノ酸配列を有し、2,3,4,7,8-PeCDFに結合活性を有するポリペプチド;ならびに
- (6)上記(1) $\sim$ (5)のポリペプチドのフラグメントであり、2,3,4,7,8 $^{-}$ PeCDFに結合活性を有するポリペプチド;

からなる群から選択される少なくとも1つのポリペプチドを含む組換抗体を提供 するものである。

また、本発明は、上記の組換抗体のアミノ酸配列をコードするDNA、該DNAを含むクローニングまたは発現ベクター、該ベクターで形質転換した形質転換体、該形質転換体を用いて該組換抗体を製造する方法、ならびに、該組換抗体を用いて2,3,4,7,8-PeCDFを免疫学的に捕獲および測定する方法を提供するものである。

(従来技術より有効な効果)

本発明の組換抗体を用いて、ダイオキシン類、特に2,3,4,7,8-PeCD Fを、免疫学的手法により、迅速、簡便、高感度に捕獲および測定することができる。

15

25

### 図面の簡単な説明

図1は、モノクローナル抗体Dx3860のH鎖可変領域のDNA配列、アミノ酸配列および超可変領域 $(CDR1\sim3)$ の位置を示す。

図 2 は、モノクローナル抗体 D x 3 8 6 0 の L 鎖可変領域の D N A配列、アミノ酸配列および超可変領域  $(CDR1\sim3)$  の位置を示す。

図 3 は、モノクローナル抗体D x 3 1 5 0 の H 鎖可変領域のD N A 配列、アミノ酸配列および超可変領域(C D R 1  $\sim$  3 ) の位置を示す。

図4は、モノクローナル抗体Dx3150のL鎖可変領域のDNA配列、アミノ酸配列および超可変領域(CDR1 $\sim$ 3)の位置を示す。

10 図 5 は、s c F v フラグメントD x 3 8 6 0 H L の構成を示す。

図6は、scFャフラグメントDx3860LHの構成を示す。

図7は、scFvフラグメントDx3150HLの構成を示す。

図8は、scFvフラグメントDx3150LHの構成を示す。

図 9 は、抗 2, 3, 4, 7, 8-Pe CDF s c F v を用いた間接競合イムノアッセイにより、 2, 3, 4, 7, 8-Pe CDFを測定した結果を示すグラフである。

図10は、H鎖可変領域ポリペプチド画分と抗2,3,4,7,8-PeCDF活性の関係を示すグラフである。

図11は、モノクローナル抗体Dx3860のV<sub>H</sub>鎖変異体のアミノ酸配列を示す。

20 図12は、変異導入Dx3860 scFv提示ファージにより、2,3,4,7,8-PeCDFを測定した結果を示すグラフである。

図13は、変異導入Dx3860 scFv提示ファージの抗体価を比較するグラフである。

図14は、変異導入Dx3860scFv提示ファージのDMSO存在下での反応性を比較するグラフである。

#### 発明を実施するための最良の形態

本発明で言う「抗体」には、生体内に存在する天然型抗体の他に、抗体のH鎖もしくはL鎖の可変領域またはその組合せにより形成される、少なくとも1つの

10

15

20

25

抗原結合部位を有するポリペプチドが含まれる。このようなポリペプチドには、例えば、H鎖またはL鎖の可変領域のみを含むポリペプチド、1組のH鎖フラグメントとL鎖からなるFabフラグメント、2組のH鎖フラグメントとL鎖からなるF(ab') $_2$ フラグメント、H鎖可変領域とL鎖可変領域がリンカーにより  $_1$ 本に結合された一本鎖組換抗体(scFv)などが含まれる。

scFvには、例えば、N末端側から「(H鎖可変領域)-(リンカー)-(L鎖可変領域)」の順序で結合されたポリペプチド、ならびに、「(L鎖可変領域)-(リンカー)-(H鎖可変領域)」の順序で結合されたポリペプチドが含まれる。リンカーは、scFvが抗原に結合する際に、H鎖可変領域およびL鎖可変領域が効率良く折り畳まれるように、これらの領域の間に配置させるものである。このリンカーは、通常、 $5\sim15$ 個のアミノ酸から構成されており、例えば、 $-(G1y_4Ser)_3$ -を例として挙げることができる。本発明において使用するリンカーは、上記目的を達成できる限り、アミノ酸の数および種類に制限はない。

また、本発明の組換抗体においては、H鎖可変領域またはL鎖可変領域のN末端側およびC末端側に、さらに適当なアミノ酸配列が付加されていてもよい。例えば、以下の実施例において示すように、「(H鎖可変領域)-(リンカー)-(L鎖可変領域)」ポリペプチドの場合には、H鎖可変領域のN末端側に分泌シグナル領域を、L鎖可変領域のC末端側にエピトープタグ配列を付加することができる。また、「(L鎖可変領域)-(リンカー)-(H鎖可変領域)」ポリペプチドの場合には、L鎖可変領域のN末端側に分泌シグナル領域を、H鎖可変領域のC末端側にエピトープタグ配列を付加することができる。

本発明の組換抗体には、抗体のH鎖もしくはL鎖の可変領域またはその組合せにより形成される少なくとも1つの抗原結合部位を有するポリペプチドの他に、これらポリペプチドと実質的に同じ機能を有する変異ポリペプチドが含まれる。本発明で言う「実質的に同じ機能」とは、抗原に対する結合力が実質的に同じであることを意味する。即ち、配列番号  $5\sim8$  で示されるアミノ酸配列を有する本発明の抗 2, 3, 4, 7, 8-PeCDF抗体のH鎖およびL鎖の可変領域は、抗原との結合力が実質的に同じである限り、1またはそれ以上のアミノ酸の欠失、置換または付加変異を含むことができる。このような本発明の変異ポリペプチドは、

配列番号5~8で示されるアミノ酸配列に対して、好ましくは95%以上、さらに好ましくは98%以上、最も好ましくは99%以上の相同性を有する。また、この変異は、図1~4に示される抗体可変領域中の超可変領域(CDR1~3)以外のフレームワークに存在するのが好ましい。

5

また、本発明の組換抗体には、配列番号5~8で示されるポリペプチドのフラグメントであって、元のポリペプチドと実質的に同じ機能を有するフラグメント、ならびに、これらフラグメントの組合せにより形成されるポリペプチドが含まれる。これらのフラグメントは、図1~4に示される超可変領域(CDR1~3)の少なくとも1つ、好ましくは2つ、さらに好ましくは3つ全てを含有する。

10

本発明の組換抗体は、所望のポリペプチドのアミノ酸配列をコードするDNA を調製し、該DNAを発現ベクターに組込み、該発現ベクターを宿主細胞に導入 し、該宿主細胞を適当な培地中で培養して該組換抗体を発現させることにより製 造することができる。

15

所望のポリペプチドのアミノ酸配列をコードするDNAは、配列番号1~4 (または図1~4)に示される c DNA配列またはアミノ酸配列に基づいて、合成により調製することができる。別法によれば、所望のポリペプチドのアミノ酸配列をコードするDNAは、次のようにして得ることもできる。即ち、本発明者らは、以下の実施例において示すように、N末端側からモノクローナル抗体Dx3860のH鎖可変領域、リンカー、Dx3860のL鎖可変領域を、この順序で含むフラグメント(図5を参照)を組込んだ発現ベクターを作製し、このベクターを大腸菌Bに導入し、この大腸菌B(pET22Δ-Dx3860HL)を特許生物寄託センターに寄託した。さらに、本発明者らは、N末端側からモノクローナル抗体Dx3150のH鎖可変領域、リンカー、Dx3150のL鎖可変領域を、この順序で含むフラグメント(図7を参照)を組込んだ発現ベクターを作製し、このベクターを大腸菌K-12に導入し、この大腸菌K-12(pET22Δ-Dx3150HL)を特許生物寄託センターに寄託した。所望のポリペプチドのアミノ酸配列をコードするDNAは、これらの発現ベクターから適当な制限酵素を用い

て切出し、所望によりDNA配列中に変異を加えることにより得ることができる。

また、DNAフラグメントの連結のために、常法によりフラグメントの末端を修

25

20

10

15

20

25

飾することができる。

得られたDNAフラグメントの発現ベクターへの組込みは、市販の発現ベクター[例えば、pET-22b(+)など]の所定のフラグメント挿入部位に合致させるように、DNAフラグメントの末端を加工し、末端加工されたDNAフラグメントを発現ベクターに挿入することによって行うことができる。

このようにして得た発現ベクターを、適当な宿主細胞、特に大腸菌[例えば、 大腸菌B株、K-12株、BL21(DE3)株など]に導入し、挿入したDNAフ ラグメントの発現に適した培地で宿主細胞を培養することにより、所望の組換抗 体を発現させることができる。発現された組換抗体を、常法により宿主細胞また はその培養液から回収することができる。回収した組換抗体は、例えばクロマト グラフィー法によって精製することができる。

この方法により、所望の組換抗体を、血清を必要とする培地で動物細胞を培養することにより得られるモノクローナル抗体より安価に、かつ大量に製造することができる。

得られた組換抗体を用いて試料中の2,3,4,7,8-PeCDFを免疫学的に、迅速に捕獲することができる。このような捕獲法としては、イムノクロマトグラフィーや免疫沈降による2,3,4,7,8-PeCDFの分離、精製および濃縮方法が含まれる。また、このような2,3,4,7,8-PeCDFの捕獲作用を利用することにより、該組換抗体を用いて生体中に摂取されたダイオキシン類のうち主要物質である2,3,4,7,8-PeCDFを迅速に捕獲し、除去することも可能である。

また、得られた組換抗体を用いて試料中の2, 3, 4, 7, 8-PeCDFを免疫学的に迅速かつ高感度に測定することができる。このような測定法には、ラジオイムノアッセイ(RIA)、酵素免疫測定(EIA)、蛍光免疫測定(FIA)などが含まれる。

また、免疫学的測定法は非競合法と競合法に大別される。本発明の組換抗体は 競合法に用いるのが好ましい。この競合法には、間接競合法と直接競合法が含ま れる。間接競合法においては、2,3,4,7,8-PeCDF誘導体を固定化し、 試料中の遊離2,3,4,7,8-PeCDFと固定化抗原との間で、組換抗体との 反応を競合させる。直接競合法においては、組換抗体を固定化し、試料中の2,3,4,7,8-PeCDFの存在量に応じ、該組換抗体に結合する標識2,3,4,7,8-PeCDF誘導体の量を測定する。

## 5 実施例

10

15

20

25

以下に実施例を挙げて本発明を具体的に説明するが、本発明はこれら実施例に 限定されるものではない。

抗2.3.4.7.8-PeCDF抗体産生ハイブリドーマの調製

2,3,4,7,8-PeCDFを認識するモノクローナル抗体を産生するハイブリドーマを、次のようにして調製した。即ち、初めに2,3,4,7,8-PeCDFにアルキル鎖を導入し、その末端を活性エステル体とした。次いで、これを、常法に従い、キャリアータンパク質であるウシ血清アルブミン(BSA)に導入し、免疫用コンジュゲートを調製した。

この免疫用コンジュゲートを、アジュバントRAS R-700 (Ribi社)中に十分に乳化させ、この乳化液200 $\mu$ 1をBALB/cマウス(7週齢、雌)の腹腔内に投与して、マウスを免疫感作した。2週間毎に追加免疫を行い、追加免疫より約1週間の経過後に尾静脈より採血し、血中抗体価を競合EIA法により測定した。

2,3,4,7,8-PeCDFに対する高い抗体産生が確認されたマウスを選択し、尾静脈内に免疫用コンジュゲートを投与して、最終免疫を行った。最終免疫より3~4日後に脾臓を摘出し、脾臓細胞を調製した。対数増殖期にあるマウスミエローマ細胞(Sp2/O)と脾臓細胞を細胞数が1:5になるように混合し、ポリエチレングリコール法(PEG法)にて細胞融合を行った。10%FCS含有HAT培地に懸濁し、96ウエル培養プレートに分注(1~2.5×10 $^5$ /ウエル)し、37 $^{\circ}$ C、5%CO $_{\circ}$ Tで培養した。

培養開始より  $7\sim1$  0 日後、ハイブリドーマの増殖が見られたウエルの培養上 清を一部採取し、 2, 3, 4, 7, 8-Pe CDF誘導体-BSAコンジュゲートを固相化したマイクロタイタープレートに添加した。室温で 1 時間反応させた後、 0. 0 5% Tween 20含有 PBS (-)で洗浄した。次いで、プレートにペルオキシダ

10

15

20

25

即ち、このようにして、モノクローナル抗体Dx3860を産生するハイブリドーマDx3860r1およびモノクローナル抗体Dx3150を産生するハイブリドーマDx3150r1を得た。

## mRNAの単離および精製

抗2,3,4,7,8-PeCDF抗体産生ハイブリドーマDx3860r1およびDx3150r1を、5%CO $_2$ 通気条件下、10%FCSを含有するRPM I 1640培地中で増殖させた。対数増殖期にある約2.8~5.0x10 $^7$ 個の細胞から、AGPC法[Chomczynski,P., Sacchi,N., Anal.Biochem., 162, p.156-159 (1987)]によって全RNAを抽出した。次いで、オリゴdTがラテックスビーズに結合したOrigotex-dT 30(宝酒造)を用いてpoly(A)+RNAを精製した。

#### c DNAの合成

Mouse scFv Module/Recombinant Phage Antibody System (Amersham Pharmacia社)に含まれるPrimed first-strand reaction mixを用いて、上記のpoly(A)+RNAからcDNAを合成した。得られたcDNAを鋳型とし、Mouse Ig-Primer Set (Novagen)およびTaq DNAポリメラーゼ(Applied Biosystems社)を用いてPCRを行った。Dx3860H鎖にはMuIgVH5'-AとMuIgVH3'-2のプライマーセットを、Dx3150H鎖にはMuIgVH5 gVH5'-DとMuIgVH3'-2のプライマーセットを用いた。また、Dx3860L鎖およびDx3150L鎖の両方には、MuIg  $\lambda$ VL5'-AとMuI

 $g \lambda V_L 3'-1$ のプライマーセットを用いた。用いたプライマーを以下の表 5 に示す。 P C R 反応は次のように行った。即ち、D x 3 8 6 0 H 鎖とD x 3 1 5 0 L 鎖については、9.4  $\mathbb{C} \times 1$  分間、5.0  $\mathbb{C} \times 1$  分間、7.2  $\mathbb{C} \times 1$  分間の反応サイクルを 3.0 サイクル行い、D x 3 1 5 0 H 鎖については、9.4  $\mathbb{C} \times 1$  分間、6.0  $\mathbb{C} \times 1$  分間、7.2  $\mathbb{C} \times 1$  分間の反応サイクルを 3.0 サイクル行い、D x 3 8 6 0 L 鎖については、9.4  $\mathbb{C} \times 1$  分間、6.0  $\mathbb{C} \times 1$  分間、7.2  $\mathbb{C} \times 1$  分間の反応サイクルを 5.0  $\mathbb{C} \times 1$  分間、5.0  $\mathbb{C} \times 1$  分間、7.2  $\mathbb{C} \times 1$  分間、7.2  $\mathbb{C} \times 1$  分間、7.2  $\mathbb{C} \times 1$  分間、7.2  $\mathbb{C} \times 1$  分間の反応サイクルを 3.0  $\mathbb{C} \times 1$  分間、0.0  $\mathbb{C} \times 1$  分間、0.0  $\mathbb{C} \times 1$   $\mathbb{C} \times 1$  分間の反応サイクルを 0.0  $\mathbb{C} \times 1$   $\mathbb{C} \times 1$ 

表5:cDNA合成用PCRプライマー

ACO . CDNAGW	701 CR2 74 C	
H鎖 5'側		
Dx3860 MuIgVH5'-A	GGGAATTCATGRASTTSKGGYTMARCTKGRTTT	(配列番号19)
Dx3150 MuIgVH5'-D	ACTAGTCGACATGGRCAGRCTTACWTYYTCATTCCT	(配列番号20)
	ACTAGTCGACATGATGGTGTTAAGTCTTCTGTACCT	(配列番号21)
	ACTAGTCGACATGGGATGGAGCTRTATCATSYTCTT	(配列番号22)
H鎖 3'側 (Dx3860、	Dx3150共通)	
MuIgV <sub>H</sub> 3'-2	CCCAAGCTTCCAGGGRCCARKGGATARACIGRTGG	(配列番号23)
L鎖 5'側 (Dx3860、	Dx3150共通)	
MuIg λ V <sub>L</sub> 5'-A	GGGAATTCATGGCCTGGAYTYCWCTYWTMYTCT	(配列番号24)
上鎖 3'側 (Dx3860、	Dx3150共通)	
MuIgλVL3'-1	CCCAAGCTTAGCTCYTCWGWGGAIGGYGGRAA	(配列番号25)

10

15

5

### cDNAのサブクローニング

上記のPCR産物を、TAクローニングキットであるpGEM-T Easy Vector System I (Promega社)を用いてpGEM-T Easyに挿入した後、大腸菌XL1-Blu e を形質転換した。コンピテントセルとして、XL1-Blue Competent Cells (STRATAGENE社)を使用した。

#### 塩基配列の決定とアミノ酸配列の解析

pGEM-T Easyにサブクローニングした抗体遺伝子 c D N A クローンについて、T 7プライマー(5'-TAATACGACTCACTATAGGG:配列番号26)を用いて、BigDye Terminator Cycle Sequencing Ready Reaction Kit v2.0 (Applied Biosystems

10

15

20

25

社)によるシークエンス反応を行った。次いで、ABI PRISM 310 Genetic Analyzer (Applied Biosystems社)にて配列を解析した。その結果、D x 3 8 6 0 抗体遺伝子のH鎖およびL鎖可変領域をコードするcDNAの塩基配列およびその推定アミノ酸配列(配列番号1および2)ならびにD x 3 1 5 0 抗体遺伝子のH鎖およびL鎖可変領域をコードするcDNAの塩基配列およびその推定アミノ酸配列(配列番号3および4)を得た。塩基配列の解析ならびにアミノ酸配列の推定および解析には、解析ソフトDNAsis(日立ソフトエンジニアリング)を使用した。また、配列番号1~4の配列中に含まれる超可変領域は、ImMunoGeneTicsデー

タベース(http://imgt.cines.fr)の分類に従って特定した。このデータベースは、Lefranc, M.-P. ら[Nucleic Acids Research, 27, p. 209-212 (1999)]、Ruiz, M. ら[Nucleic Acids Research, 28, p. 219-221 (2000)]、および、Lefranc, M.-P. [Nucleic Acids Research, 29, p. 207-209 (2001)]の論文を参照して作成されている。特定した超可変領域(CDR1~3)の位置を、DNA配列およびアミノ酸配列と共に、図1~4に示す。

#### 発現ベクター p E T 2 2 Δ の作製

市販ベクターである p E T-2 2 b (+) (Novagen社) の制限酵素サイトX ba I - Nco I 間の配列を、市販ベクターである p E T-3 d (Novagen社) の制限酵素サイトX ba I - Nco I 間の配列に置換して、T 7 / 1 a c プロモーター、ヒスチジンタグおよびT 7ターミネーターを有する発現ベクター p E T 2 2 Δを作製した。この発現ベクター p E T 2 2 Δを に制限酵素 Nco I (New England BioLabs社) と Not I (東洋紡社) で切断し、その末端をCalf intestine Alkaline Phosphatase (東洋紡社) により脱リン酸化処理した。 0.7%アガロースゲル電気泳動により、切断した p E T 2 2 Δのバンドを分離し、ゲルを切り出し、MagExtractor-PCR & Gel Clean Up-(東洋紡社)を用いてDNAをゲルより抽出した。このNco I - Not I サイトに、以下のように s c F v フラグメントを組込み、これを s c F v 発現ベクターとした。

#### cDNAからのscFvフラグメントの作製

クローニングした抗体遺伝子のH鎖およびL鎖の c D N A を、リンカー配列を コードするD N A により連結し、これを発現ベクターに組込むために、制限酵素 WO 2004/087764 PCT/JP2004/004355

· 15

配列を含むプライマーを用いて、H鎖およびL鎖のcDNAをPCRで増幅した。Dx3150H鎖は、BamHIサイトの配列をGGATCCからGGATTCに変更し、かつ、BamHIサイトの前後の配列を含むようにプライマーを設計し、H鎖DNAを5'側と3'側の2つに分け増幅した。リンカーDNAは、fill-inによりH鎖およびL鎖のcDNAを連結するために、これらの配列の一部を含むプライマーによりPCRで増幅した。これによって、一本鎖抗体のアミノ末端側がH鎖となるものには、H鎖センスDNA3'端側の配列をリンカーDNAの5'端側に、L鎖センスDNA5'端側の配列をリンカーDNAの3'端側に付加した。また、一本鎖抗体のアミノ末端側がL鎖となるものには、L鎖センスDNA3'端側の配列をリンカーDNAの3'端側に付加した。また、一本鎖抗体のアミノ末端側がL鎖となるものには、L鎖センスDNA3'端側の配列をリンカーDNAの3'端側に付加した。H鎖、L鎖およびリンカーDNAの増幅に用いたプライマーの組合せを表6および表7に示す。

5

10

表6:scFv構築用PCRプライマー

リンカー用オリゴ(-		
GGA GGA GGC	C GGT TCA GGC GGA GGT GGC TCT GGC GGT GGC GGA TCC	(配列番号27)
Dx3860 HL		
·H鎖		
3860H 5' (Nco)	G ACC ATG GAA GTG AAG CTG GTG GAG TCC GGG GG	(配列番号28)
3860H 3' (Mro)	CC TCC GGA AGA GAC AGT GAC CAG GGT ACC TTG GC	(配列番号29)
·L鎖		
3860L 5' (Bam)	GC GGA TCC CAG GCT GTT GTG ACT CAG GAA TCT	(配列番号30)
3860L 3' (Not)	G AGC GGC CGC TAG GAC AGT CAG TTT GGT	(配列番号31)
・リンカー延長		
リンカー 5' (3860H)	GGT ACC CTG GTC ACT GTC TCT TCC GGA GGA GGC GGT TCA G	(配列番号32)
リンカー 3' (3860L)	AGA TTC CTG AGT CAC AAC AGC CTG GGA TCC GCC ACC GCC AG	(配列番号33)
<u>Dx3860 LH</u>		
·L鎖		
3860L 5' (Nco)	G ACC ATG GCC CAG GCT GTT GTG ACT CAG GAA TCT	(配列番号34)
3860L 3' (Mro)	CC TCC GGA GCC TAG GAC AGT CAG TTT GGT TCC TCC	(配列番号35)
·H鎖		
3860H 5' (Bam)	GC GGA TCC GAA GTG AAG CTG GTG GAG TCC GGG GGA GG	(配列番号36)
3860H 3'(Not)	G AGC GGC CGC TGC AGA GAC AGT GAC CAG AGT	(配列番号37)
・リンカー延長		
リンカー 5' (3860L)	ACC AAA CTG ACT GTC CTA GGC TCC GGA GGA GGC GGT TCA G	(配列番号38)
リンカー 3' (3860H)	CCC GGA CTC CAC CAG CTT CAC TTC GGA TCC GCC ACC GCC AG	(配列番号39)

表7:scFv構築用PCRプライマー(続き)

Dx3150 HL		
·H鎖(5'側)		
3150H 5' (Nco)	G ACC ATG GAT GTA CAG CTT CAG GAG TCA GGA CC	(配列番号40)
3150H (128at)	CC TGG AAA CTG CCG AAT CCA GTT CCA GT	(配列番号41)
·H鎖(3'側)		
3150H (101sn)	AC TGG AAC TGG ATT CGG CAG TTT CCA GG	(配列番号42)
3150H 3' (Mro)	CC TCC GGA GGA GAC TGT GAG AGT GGT ACC TTG GC	(配列番号43)
·L鎖		
3150L 5' (Bam)	GC GGA TCC CAG GCT GTT GTG ACT CAG GAA TCT	(配列番号44)
3150L 3' (Not)	G AGC GGC CGC TAG GAC AGT CAG TCT GGT	(配列番号45)
・リンカー延長		
リンカー 5' (3150H)	GGT ACC ACT CTC ACA GTC TCC TCC GGA GGA GGC GGT TCA G	(配列番号46)
リンカー 3' (3150L)	AGA TTC CTG AGT CAC AAC AGC CTG GGA TCC GCC ACC GCC AG	(配列番号47)
Dx3150 LH		
·L鎖		
3150L 5' (Nco)	G ACC ATG GCC CAG GCT GTT GTG ACT CAG GAA TCT	(配列番号48)
3150L 3' (Mro)	CC TCC GGA GCC TAG GAC AGT CAG TCT GGT TCC TCC	(配列番号49)
·H鎖(5'側)		
3150H 5' (Bam)	GC GGA TCC GAT GTA CAG CTT CAG GAG TCA GGA CCT GG	(配列番号50)
3150H (128at)	CC TGG AAA CTG CCG AAT CCA GTT CCA GT	(配列番号51)
·H鎖(3'側)		
3150H (101sn)	AC TGG AAC TGG ATT CGG CAG TTT CCA GG	(配列番号52)
3150H 3'(Not)	G AGC GGC CGC TGA GGA GAC TGT GAG AGT GGT	(配列番号53)
・リンカー延長		
リンカー 5' (3150L)	ACC AGA CTG ACT GTC CTA GGC TCC GGA GGA GGC GGT TCA G	(配列番号54)
リンカー 3' (3150H)	TCC TGA CTC CTG AAG CTG TAC ATC GGA TCC GCC ACC GCC AG	(配列番号55)

PCR増幅を、GeneAmp PCR System 9700 (Applied Biosystems社)を使用し、 r Ta q DNAポリメラーゼ (東洋紡社)を用いて、次のように行った。即ち、 9 4  $\mathbb{C} \times 1$  分間、 5 8  $\mathbb{C} \times 1$  分間、 7 2  $\mathbb{C} \times 1$  分間の反応サイクルを 5 サイクル行い、さらに 9 4  $\mathbb{C} \times 1$  分間、 4 8  $\mathbb{C} \times 1$  分間、 7 2  $\mathbb{C} \times 1$  分間の反応サイクルを 2 0 サイクル行った。 PCR増幅の後、各PCR産物を 3 %アガロースゲル電気泳動により分離した。 DNAフラグメントを含むゲルを切り出し、 MagExtractor -PCR & Gel Clean Up-(東洋紡社)を用いて DNAをゲルから抽出

10

15

20

25

した。次いで、抽出したH鎖、L鎖およびリンカーDNAの3種類のDNAを混合し、r T a q DNAポリメラーゼ (東洋紡社)を用いて94  $\mathbb{C} \times 1.5$  分、65  $\mathbb{C} \times 3$  分の反応サイクルを20 サイクル行うか、あるいは、P f u DNAポリメラーゼ (STRATAGENE社)を用いて95  $\mathbb{C} \times 1.5$  分、65  $\mathbb{C} \times 6$  分の反応サイクルを20 サイクル行うことにより、H鎖、L鎖およびリンカーDNAを連結した。

このように連結した s c F v フラグメントを、それがコードするアミノ酸配列と共に、図 5  $\sim$  8 (配列番号 5 6  $\sim$  5 9 ; アミノ酸配列のみは配列番号 6 0  $\sim$  6 3)に示した。

図5(配列番号56)は、N末端側からモノクローナル抗体Dx3860のH鎖可変領域、リンカー、Dx3860のL鎖可変領域を、この順序で含むscFvフラグメント(Dx3860HL)を示すものであり、そのアミノ酸配列の1~114位はH鎖可変領域を、115~129位はリンカーを、130~239位はL鎖可変領域を示す。

図 6 (配列番号 5 7)は、N末端側からモノクローナル抗体D x 3 8 6 0 の L 鎖 可変領域、リンカー、D x 3 8 6 0 の H 鎖可変領域を、この順序で含む s c F v フラグメント (D x 3 8 6 0 L H)を示すものであり、そのアミノ酸配列の  $1\sim1$  1 0 位は L 鎖可変領域を、1 1  $2\sim1$  2 6 位は リンカーを、1 2  $7\sim2$  4 0 位は H 鎖可変領域を示す。

図 7 (配列番号 5 8) は、N末端側からモノクローナル抗体D x 3 1 5 0 のH鎖可変領域、リンカー、D x 3 1 5 0 のL鎖可変領域を、この順序で含む s c F v フラグメント (D x 3 1 5 0 HL)を示すものであり、そのアミノ酸配列の  $1\sim 1$  1 8 位はH鎖可変領域を、1 1 9  $\sim$  1 3 3 位はリンカーを、1 3  $4\sim 2$  4 3 位は L鎖可変領域を示す。

図8(配列番号59)は、N末端側からモノクローナル抗体Dx3150のL鎖可変領域、リンカー、Dx3150のH鎖可変領域を、この順序で含むscFvフラグメント(Dx3150LH)を示すものであり、そのアミノ酸配列の1~110位はL鎖可変領域を、112~126位はリンカーを、127~244位はH鎖可変領域を示す。

10

15

20

25

さらに、得られたscFvフラグメントを増幅するために、反応溶液にscFvの両端(NcoI-NotI)に対応するプライマーを加えてPCRを行った。Dx3860については、 $94\%\times1$ 分、 $67\%\times1$ 分、 $72\%\times2$ 分の反応サイクルを5サイクル行い、さらに $94\%\times1$ 分、 $60\%\times1$ 分、 $72\%\times2$ 分の反応サイクルを5サイクル行い、さらに $94\%\times1$ 分、 $60\%\times1$ 分、 $72\%\times2$ 分の反応サイクルを20サイクル行った。Dx3150については、 $95\%\times1$ 分、 $62\%\times1$ 分、 $75\%\times4$ 分の反応サイクルを5サイクル行い、さらに $95\%\times1$ 分、 $55\%\times1$ 分、 $75\%\times4$ 分の反応サイクルを20サイクル行った。PCR産物を、1.5%アガロースゲル電気泳動により分離し、scFvのDNAフラグメント(730%740bp)を含むゲルを切り出し、DNAフラグメントをゲルから抽出した。次いで、このDNAフラグメントの末端を、制限酵素NcoI(New England BioLabs社)およびNotI(東洋紡社)により処理し、再度MagExtractorにより精製した。

scFv DNAフラグメントを、発現ベクターpET22 $\Delta$ のNco I-Not I サイトに挿入し、この発現ベクターで大腸菌XL 1-B I u e を形質転換した。 ライゲーションにはDNA Ligetion Kit Ver. 2(宝酒造社)を用い、コンピテントセルとしてXL1-Blue Competent Cells(STRATAGENE社)を使用した。サブクローニングしたクローンについて、scFv部分の配列を解析し、正しい配列を有するクローンを選択してscFvの発現に用いた。このようにして、scFvフラグメントDx3860HLを含む発現ベクターpET22 $\Delta$ -Dx3860HLならびにscFvフラグメントDx3150HLを含む発現ベクターpET22 $\Delta$ -Dx3150HLを得た。

発現ベクターp ET 2 2  $\Delta$ -D x 3 8 6 0 H L は、大腸菌 B に導入し、大腸菌 B (p ET 2 2  $\Delta$ -D x 3 8 6 0 H L)として、また、発現ベクターp ET 2 2  $\Delta$ -D x 3 1 5 0 H L は、大腸菌 K-1 2 に導入し、大腸菌 K-1 2 (p ET 2 2  $\Delta$ -D x 3 1 5 0 H L)として、平成 1 5 年 2 月 2 7 日 に独立行政法人産業技術総合研究所 特許生物寄託センターに寄託され、それぞれ受託番号 F E R M B P - 8 3 0 5 および F E R M B P - 8 3 0 6 を取得した。

#### 大腸菌での発現

scFvフラグメントDx3860HLが組込まれた発現ベクターpET22

10

15

20

25

 $\Delta$ -D x 3 8 6 0 H L で形質転換した大腸菌 Origami B (DE3) (Novagen社)を、L B 培地 3 0 0 m 1 中、OD 6 0 0 が約 0.5 になるまで 3 7  $\mathbb{C}$ で培養した。次いで、培養温度を 2 5  $\mathbb{C}$ に下げて培養を続けた。OD 6 0 0 が約 1.0 になった時点で、I P T G (イソプロピルチオガラクトシド)を終濃度が 1 m M になるように添加し、終夜培養して、s c F v の発現を誘導した。遠心により菌体約 1 g を回収した後、5 0 m M トリス-H C 1 (p H 8.0)、0.1 M N a C 1 中に懸濁し、リゾチーム(終濃度 0.2 m g / m 1) および Triton X-100 (終濃度 1%)を加えて溶菌した。遠心(15,000 x g、20分間) により沈殿を回収し、沈殿を1.0% Triton X-100を含む緩衝液で2回洗浄し、s c F v を含む沈殿を約100 m g 得た。

### <u>s c F v の再構成</u>

封入体として得られたscFvを、 $25 \,\mathrm{mM}$  PB、 $350 \,\mathrm{mM}$  NaCl、6 Mグアニジン・HCl(pH7.4)の緩衝液中に加え、4  $\mathbb{C}$  で終夜静置して溶解した。遠心( $10,000 \,\mathrm{xg}$ 、 $15 \,\mathrm{分間}$ )により残渣を除去した後、上記の緩衝液にて平衡化したニッケルキレートカラム(Qiagen社)に適用した。カラム容積の約5~ $10 \,\mathrm{GH}$  型の緩衝液にてカラムを十分に洗浄した後、 $20 \,\mathrm{M}$  グリセロールおよび $400 \,\mathrm{mM}$  アルギニンを含む上記緩衝液に交換した。 $6 \,\mathrm{M}$  から $0 \,\mathrm{M}$  までのグアニジン・HClのグラジエントを用いて、キレートカラム上に結合したscFvを再構成させた。 $25 \,\mathrm{mM}$  PB、 $350 \,\mathrm{mM}$  NaCl、 $20 \,\mathrm{M}$  グリセロール、 $50 \,\mathrm{mM}$  イミダゾールの溶液(pH7.4)でカラムを洗浄した後、イミダゾール 濃度を $300 \,\mathrm{mM}$  に上げてscFvを溶出させた。

<u>抗2,3,4,7,8-PeCDF scFvを用いた間接競合イムノアッセイによ</u> る2,3,4,7,8-PeCDFの測定

マイクロタイタープレートに 2, 3, 4, 7, 8-PeCDF誘導体-BSAコンジュゲート  $(1 \mu \text{ g/m } 1)$  5 0  $\mu$  1 を加え、室温で 1 時間反応させた。 0. 0 5 % Tween 20含有 PBS (-)でマイクロタイタープレートの各ウエルを洗浄し、ブロックエース (雪印社) を加え、室温で 2 時間静置してブロッキングを行った。マイクロタイタープレートを洗浄後、各濃度に調製した 2, 3, 4, 7, 8-PeCDF (20% DMSO溶液) 2 5  $\mu$  1 と抗 2, 3, 4, 7, 8-PeCDF s c F  $\nu$  の溶

10

15

20

25

液  $25\mu$  1 を添加し、室温で  $0.5\sim1$  時間反応させた。再度マイクロタイタープレートを洗浄した後、2000 倍希釈した抗tetra-His抗体 (Qiagen社) を加え、室温で 1 時間反応させた。次いで、3000 倍希釈したペルオキシダーゼ標識抗マウス I g G ( $\gamma$  鎖認識) 抗体 (KPL社)  $50\mu$  1 を添加し、室温で 1 時間反応させた。マイクロタイタープレートの各ウエルを十分に洗浄して未反応液を除去した後、基質溶液 (TMB基質、KPL社) を加え、室温で 15 分間静置した。 $50\mu$  1 の 1 M 1 H $_3$  P O $_4$  を添加して反応を停止させ、プレートリーダー (Labsystems社)により OD 450 (対照:OD 600) を測定した。この結果を図 9 にグラフで示す。このグラフから、抗 2 、3 、4 、7 、8 - 9 e CD 9 を 9 に

発現ベクター p E T 2 2  $\Delta$ -D x 3 8 6 0 H L の L 鎖可変領域を含む制限酵素 サイト B am H I - Not I 間の配列を除去して作製した発現ベクター p E T 2 2  $\Delta$ -D x 3 8 6 0 H を用いて大腸菌 Origami B (DE3) (Novagen社)を形質転換した。

H鎖可変領域ポリペプチドの2,3,4,7,8-PeCDF結合活性の確認

この形質転換体を用いて、scFvと同様に、H鎖可変領域ポリペプチド(配列番号5で示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド)の発現を行った。

封入体として得られたH鎖可変領域ポリペプチドを、上記と同様に、ニッケルキレートカラム上で再構成した後、イミダゾールを用いて単離および精製した。キレートカラムより溶出された画分について、吸光度(280nm)を測定してタンパク質濃度を求め、さらに、EIA法により固相化した2,3,4,7,8-Pe CDF-BSAコンジュゲートへの反応性を検討した。この結果、図10に示すように、H鎖可変領域ポリペプチド画分に抗2,3,4,7,8-Pe CDF活性を認め、H鎖可変領域ポリペプチドが2,3,4,7,8-Pe CDFに結合活性を有することを確認した。

<u>H鎖への変異導入と変異体の 2</u>, 3, 4, 7, 8-PeCDF結合活性の確認 モノクローナル抗体 Dx 3860の遺伝子配列をもとに、変異導入抗体遺伝子 ライブラリーの作製を行った。抗体のH鎖可変領域  $(V_H)$  の遺伝子を鋳型とし、 5'側および 3'側の配列に制限酵素サイトを付加したプライマーを設定し、 error-prone PCRにより変異を導入した。error-prone PCRは、Tag D

10

15

20

25

NAポリメラーゼが増幅中にしばしば読み間違えを起こす性質を利用し、さらに 塩化マンガンの添加によりPCRの際の読み間違いを意図的に誘発し、ランダム な変異を導入する方法である。このPCR産物を、制限酵素による末端の処理と 精製の後、その制限酵素サイトを利用して単鎖抗体発現ファージミドのH鎖遺伝 子と置き換え、これを用いて大腸菌TG1を形質転換した。

形質転換した大腸菌の培養液10m1に、アンピシリンを終濃度 $100\mu$ g/m1となるように、また、M13KO7ファージを終濃度 $4\times10^9$ pfu/m1となるよう添加し、37℃で1時間培養した。遠心分離により菌体を回収し、アンピシリン $100\mu$ g/m1とカナマイシン $50\mu$ g/m1を含む $2\times YT$ 培地10m1に再懸濁し、37℃で終夜培養して培地中に単鎖抗体提示ファージを産生させた。培養液を遠心分離し、大腸菌菌体を除いた培養上清10m1に対し、2.5M NaC1含有20%ポリエチレングリコール溶液2m1を加え、混和した。氷上で1時間静置した後、冷却下、遠心分離( $1000g\times20分$ 間)した。上清を完全に除去した後、得られた沈殿を10倍希釈ブロックエース(雪印社)1m1に溶解させ、単鎖抗体提示ファージ溶液とした。

調製した単鎖抗体提示ファージから、2,3,4,7,8-PeCDF誘導体、2,3,7,8-TCDF誘導体、およびクロロベンゼン誘導体に対する反応性の高いクローンを濃縮するため、バイオパニングを行った。調製したファージ溶液を、まずブロッキング剤のみを固相化したマイクロタイタープレート中でプレインキュベート( $100\mu1/$ ウエル、室温、1時間)することにより、非特異的結合を排除した。次いで、2,3,4,7,8-PeCDF誘導体、2,3,7,8-TCDF誘導体、およびクロロベンゼン誘導体の各BSAコンジュゲートを固相化してブロックエースでブロッキングしたマイクロタイタープレートに移し( $100\mu1/$ ウエル)、8%DMSO存在下に室温で1時間反応させた。反応終了後、プレートの各ウエルに8%DMSOおよび0.1% Tween 20含有PBS(-)300 $\mu1$ 0を添加し、ピペッティングし、5分間静置した後、洗浄緩衝液を廃棄した。この洗浄操作を3回繰り返した後、洗浄液を完全に除去し、20.1Mグリシン-塩酸緩衝液(20+20)100 $\mu1/$ ウエルを加え、20分間静置した。ピペッティングを行って、固相化抗原から遊離した単鎖抗体提示ファージを回収し、直ちに

10

15

20

25

トリス溶液(pH8.0)を加えて中和した。

 $2 \times Y$  T培地  $2.5 \, \text{m} \, 1$  中で培養した大腸菌 T G 1 (OD  $_{600 \, \text{nm}} = 0.3$ )の培養 液に、バイオパニングにより回収したファージ溶液を混和し、 $37 \, \text{C} \, \text{C} \, 1$  時間培養してファージを再感染させた。次に、アンピシリン (終濃度  $100 \, \mu \, \text{g/m} \, 1$ ) およびグルコース (終濃度  $2 \, \text{%}$ ) を含む培養液に、終濃度  $4 \times 10^{\, \text{g}} \, \text{p} \, \text{f} \, \text{u/m} \, 1$  となるようM  $13 \, \text{KO} \, 7$  ファージを添加し、さらに  $37 \, \text{C} \, \text{C} \, 1$  時間培養を行った。遠心分離により菌体を回収した後、アンピシリン  $100 \, \mu \, \text{g/m} \, 1$  とカナマイシン  $50 \, \mu \, \text{g/m} \, 1$  を含む  $2 \times Y$  T培地  $10 \, \text{m} \, 1$  に再度懸濁し、  $37 \, \text{C} \, \text{C} \, \text{e} \, \text{で終夜培養した。これにより、単鎖抗体提示ファージを増幅し、培地中に産生させた (ファージレスキュー)。増幅したファージを、再びポリエチレングリコール沈殿により回収した。バイオパニングによる濃縮と再感染およびファージレスキューによる増幅を、 <math>3 \sim 5$  回繰り返した。

いずれの変異体も間接競合イムノアッセイにより 2, 3, 4, 7, 8-PeCDF を認識することを確認した (図 1 2)。また、抗体価やDMSO中での反応性には 差が見られ、抗体価およびDMSO中での安定性はいずれも、変異体の方が野生型を上回る結果を示した (図 1 3 および図 1 4)。さらに、この傾向は形質転換した大腸菌 [Origami B (DE3)]にて発現させた各 s c F v においても保持されてい

た。

5

10

## 産業上の利用の可能性

本発明により提供されるDNAを用いて宿主細胞内で発現させることにより、2,3,4,7,8-PeCDFを認識する組換抗体を大量に製造することができる。このように製造された組換抗体は、親モノクローナル抗体より安価であり、それを用いて2,3,4,7,8-PeCDFを免疫学的に捕獲することができ、免疫測定に応用することができる。また、変異を導入したDNAを用いることにより、さらに有利な特性を有する組換抗体、例えば、2,3,4,7,8-PeCDFへの親和性が向上した組換抗体や安定性が改善された組換抗体などを製造することができ、生体成分である天然の抗体タンパク質が有する問題点の克服も可能となる。

### 請求の範囲

- 1. 2, 3, 4, 7, 8-ペンタクロロジベンゾフラン(2, 3, 4, 7, 8-PeCD F)に結合活性を有する組換抗体であって、
- (1) 2, 3, 4, 7, 8-PeCDFを認識するモノクローナル抗体Dx3860 のH鎖可変領域を構成し、配列番号5で示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド:
- (2)該モノクローナル抗体Dx3860のL鎖可変領域を構成し、配列番号6で示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド;
- 10 (3)2,3,4,7,8-PeCDFを認識するモノクローナル抗体Dx3150 のH鎖可変領域を構成し、配列番号7で示されるアミノ酸配列を有するポリペプ チド:
  - (4)該モノクローナル抗体Dx3150のL鎖可変領域を構成し、配列番号8 で示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド;
- 15 (5)上記(1)~(4)のポリペプチドのアミノ酸配列に95%以上の相同性を有するアミノ酸配列を有し、2,3,4,7,8-PeCDFに結合活性を有するポリペプチド;ならびに
  - (6)上記(1) $\sim$ (5)のポリペプチドのフラグメントであり、2,3,4,7,8-PeCDFに結合活性を有するポリペプチド;
- 20 からなる群から選択される少なくとも1つのポリペプチドを含む組換抗体。
  - 2. (5)のポリペプチドが、(1)~(4)のポリペプチドのアミノ酸配列に98%以上の相同性を有するアミノ酸配列を有し、2,3,4,7,8-PeCDFに結合活性を有するポリペプチドである請求項1に記載の組換抗体。
- 3. モノクローナル抗体D x 3 8 6 0 のH鎖可変領域を構成し、配列番号 5 で 示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド、または該ポリペプチドのアミノ酸 配列に95%以上の相同性を有するアミノ酸配列を有し、2,3,4,7,8-P e CDFに結合活性を有するポリペプチド、ならびに、モノクローナル抗体D x 3 8 6 0 のL鎖可変領域を構成し、配列番号 6 で示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド、または該ポリペプチドのアミノ酸配列に95%以上の相同性を有す

10

るアミノ酸配列を有し、2,3,4,7,8-PeCDFに結合活性を有するポリペプチドを含む請求項1に記載の組換抗体。

- 4. モノクローナル抗体  $D \times 3150$  のH鎖可変領域を構成し、配列番号 7 で 示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド、または該ポリペプチドのアミノ酸 配列に 95%以上の相同性を有するアミノ酸配列を有し、2,3,4,7,8-Pe CDFに結合活性を有するポリペプチド、ならびに、モノクローナル抗体  $D \times 3150$  のL鎖可変領域を構成し、配列番号 8 で示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド、または該ポリペプチドのアミノ酸配列に 95%以上の相同性を有するアミノ酸配列を有し、2,3,4,7,8-Pe CDFに結合活性を有するポリペプチドを含む請求項 1 に記載の組換抗体。
  - 5. 請求項1に記載の組換抗体のアミノ酸配列をコードするDNA。
  - 6. 請求項5に記載のDNAを含むクローニングまたは発現ベクター。
- 7. 請求項6に記載のクローニングまたは発現ベクターで形質転換した形質転換体。
- 8. 請求項1に記載の組換抗体の製造方法であって、請求項7に記載の発現ベクターで形質転換した形質転換体を適当な培地中で培養し、該形質転換体または培地から組換抗体を回収することを含んでなる方法。
  - 9. 2, 3, 4, 7, 8-Pe CDFを免疫学的に捕獲する方法であって、請求項1に記載の組換抗体を使用することを特徴とする方法。
- 20 10.2,3,4,7,8-PeCDFを免疫学的に測定する方法であって、請求 項1に記載の組換抗体を使用することを特徴とする方法。

# 1/11

# 第1図

Dx38	60	Vн																			
1	GAA Glu	GTG Val	AAG Lys	CTG Leu	GTG Val	GAG Glu	TCT Ser	GGG Gly	GGA Gly	GGC Gly	TTA Leu	GTG Val	AAG Lys	CCT Pro	GGA Gly	GGG Gly	TCC Ser	CTG Leu	AAA Lys	CTC Leu	60 20
61 21	TCC Ser	TGT Cys	GCA Ala	GCC Ala	TCT Ser	GGA Gly	TTC Phe	Thr	TTC Phe ODR1-	Ser	Ser	TAT Tyr	GCC Ala	ATG Met	TCT Ser	TGG Trp	GTT Val	CGC Arg	CAG Gln	ACT Thr	120 40
121 41	CCA Pro	GAG Glu	AAG Lys	AGG Arg	CTG Leu	GAG Glu	TGG Trp	GTC Val	GCA Ala	TCC Ser	TTT Phe	AGT Ser	Asn	GGT Gly R2-II	Gly	ATC Ile	ACC Thr	TAC Tyr	TAT Tyr	CCA Pro	180 60
181 61	GAC Asp	AGT Ser	GTG Val	AAG Lys	GGC Gly	CGA Arg	TTC Phe	ACC Thr	ATC Ile	TCC Ser	AGA Arg	GAT Asp	AAT Asn	GCC Ala	AGG Arg	AAC Asn	ATC Ile	CTG Leu	TAC Tyr	CTG Leu	240 80
241 81	CAA Gln	ATG Met	ACC Thr	AGT Ser	CTG Leu	AGG Arg	TCT Ser	GAG Glu	GAC Asp	ACG Thr	GCC Ala	ATT Ile	TAT Tyr	TAC Tyr	TGT Cys	GCA Ala	AGA Arg	Gly	TAT Tyr DR3-	GIA	300 100
301 101	CCT Pro	GCT Ala	TAC	TGG Trp	GGC Gly	CAA Gln	GGG Gly	ACT Thr	CTG Leu	GTC Val	ACT Thr	GTC Val	TCT Ser	GCA Ala							342 114
										釺	§ 2	図									
Dx3	860	VL																			
1	CAC Gli	G GC	T GT a Va	r GTG 1 Va	G AC	r Gli	G GA/	A TC 1 Se	r GCA	A CTO	C ACC u Thi	C AC	A TC/ r Se	A CCI r Pro	GGT Gly	Γ GA/ y Glu	A AC	A GTO	C AC	A CTC r Leu	60 20
61 21	AC.	r TG c Cy	T CG s Ar	C TC	A AG r Se	r AC	r GG	G GC y Al	a Va	1 Th	A AC	r Le	T AAG u Ası	C TA	GCC r Ala	C AAG a Ası	C TG n Tr	G GT p Va	C CA	A GAA n Glu	120 40
121 41	AA. Ly	A CC s Pr	A GA o As	T CA p Hi	T TT s Le	A TT u Ph	C AC e Th	I GG r Gl	т ст	A AT	A GG	T AA' y As	n Th	C AAG r Ass IMGT	n As	C CG/ n Ar	A GC g Al	T CC a Pr	A GG o G1	T GTT y Val	180 60
181 61	CC Pr	T GC o Al	C AG a Ar	A TT	C TC e Se	A GG r Gl	C TC y Se	C CT r Le	G AT u Il	T GG e Gl	A GA y As	C AA	G GC	T GO	c ct	C AC u Th	C AT r Il	C AC e Th	A GG r Gl	G GCA y Ala	240 80
241 81	CA G1	G AC	T GA	G GA u As	T GA p Gl	G GC u Al	A AT a Il	A TA e Ty	T TT r Ph	C TG e Cy	T GC	T CT a Le	A TG u Tr	p Ty	C AG r Se 3-IM	r As	C CA n Hi	T TT s Le	G GT u Va	G TTC 1 Phe	300 100
301 101				A AC										Juli							330 110

## 2/11

# 第3図

1 145 7	-	w
Dx31	Ling.	VH

1	GAT Asp	GTA Val	CAG G1n	CTT Leu	CAG Glņ	GAG Glu	TCA Ser	GGA Gly	CCT Pro	GGC Gly	CTC Leu	GTG Val	AAA Lys	CCT Pro	TCT Ser	CAG Gln	TCT Ser	CTG Leu	TCT Ser	CTC Leu	60 20
61 21	ACC Thr	TGT Cys	TCT Ser	GTC Val	ACT Thr	GGC Gly	TAC Tyr	TCC Ser	Ile	ACC Thr R1-IM	Ser	GGC Gly	TTT Phe	TAC Tyr	TGG Trp	AAC Asn	TGG Trp	ATC Ile	OGG Arg	CAG Gln	120 40
121 41	TTT Phe	CCA Pro	GGA Gly	AAC Asn	AAA Lys	CTG Leu	GAA Glu	TGG Trp	ATG Met	GGC Gly	TAC Tyr	ATA Ile	AGC Ser	Tyr	Asp	GGT Gly MGT-	Tyr	AAT Asn	AAT Aşn	TAC Tyr	180 60
181 61	AAC Asn	CCA Pro	TTT Phe	CTC Leu	AAA Lys	AAT Asn	CGA Arg	GTG Val	TCC Ser	ATC Ile	ACT Thr	CGT Arg	GAC Asp	ACA Thr	TCT Ser	GAG Glu	AAC Asn	CAG Gln	TTT Phe	TTC Phe	240 80
241 81	CTG Leu	AAG Lys	TTG Leu	CAT His	TCT Ser	GTG Val	ACT Thr	ACT Thr	GAG Glu	GAC Asp	ACA Thr	GCT Ala	ACA Thr	TAT Tyr	TAC Tyr	TGT Cys	GTA Val	AGT Ser	TAC Tyr	GGT Gly	300 100
301 101	Ser	Arg	AGG Arg IMGT	Gly	GTT Val	ACC Thr	TAC Tyr	TGG Trp	GGC Gly	CAA Gln	GGC Gly	ACC Thr	ACT Thr	CTC Leu	ACA Thr	GTC Val	TCC Ser	TCA Ser			354 118

## 第4図

## Dx3150 VL

1	CAG	GCT	GTT	GTG	ACT	CAG	GAA	TCT	GCA	CTC	ACC	ACA	TCA	CCT	GGT	GAA	ACA	GTC	ACA	CTC	60
1	Gln	Ala	Val	Val	Thr	Gln	Glu	Ser	Ala	Leu	Thr	Thr	Ser	Pro	Gly	Glu	Thr	Val	Thr	Leu	20
61	ACT	TGT	CGC	TCA	AGT	ACT	GGG	GCT	GTT	ACA	ACT	AGT	AAC	TAT	GCC	AAC	TGG	GTC	CAA	GAA	120
21	Thr	Cys	Arg	Ser	Ser	Thr	Gly	Ala	Val	Thr	Thr	Ser	Asn	Tyr	Ala	Asn	Trp	Val	Gln	Glu	40
		•								R1-IN											
121	AAA	CCA	GAT	CAT	TTA	TTC	ACT	GGT	CTA	ATA	GGT	AAT	ACC	AAC	AAC	CGA	GCT	CCA	GGT	GTT	180
41	Lys	Pro	Asp	His	Leu	Phe	Thr	Gly	Leu	I1e	Gly	Asn	Thr	Asn	Asn	Arg	Ala	Pro	Gly	Val	60
	-•		-									-CDI	R2-II	MGT-							
181	СТ	CCC	ΔGA	TTC	TCT	GGC	TOC	CTG	АТТ	GGA	GAC	AAG	GCT	GCC	CTC	ACC	ATC	ACA	GGG	GCA	240
61	Pro	Ala	Arg	Phe	Ser	Glv	Ser	Leu	Ile	Gly	Asp	Lys	Ala	Ala	Leu	Thr	Ile	Thr	Gly	Ala	80
0.																					
241	CAG	ACT	GAG	GAT	GAG	GCG	АТА	ТАТ	TTC	TGT	GCT	CTT	TGG	TAC	AAC	ACC	CAT	TTG	GTG	TTC	300
81	Gln	Thr	Glu	Asp	Glu	Ala	Ile	Tyr	Phe	Cys	Ala	Leu	Trp	Tyr	Asn	Thr	His	Leu	Val	Phe	100
01	0,11							•		•				CD	R3-I	MGT-					
301	CCT	CCA	CCA	۸۲۲	ΔCΔ	CTG	ACT	GTC	СТА	GGC											330
101	Clv	GI v	Glv	Thr	Arg	Leu	Thr	Val	Leu	Gly											110
101	~	01,	,		0																

WO 2004/087764 PCT/JP2004/004355

3/11

## 第5図

### D x 3860H L sc F v

1	GAA	GTG	AAG	CTG	GTG	GAG	TCC	GGG	GGA	GGC	TTA	GTG	AAG	CCT	GGA CCT	GGG CCC	TCC AGG	CTG GAC	AAA TTT	CTC GAG	60
1	Glu- Vii	-Val-	-Lys-	-Leu-	-Val-	·Glu-	Ser-	-Gly-	-Gly-	-Gly-	Leu-	-Val-	Lys-	Pro-	-Gly-	-Gly-	Ser-	Leu-	Lys-	Leu	20
	AGG	ACA	CGT	CGG	AGA	CCT	AAG	TGA	AAG	TCA	AGG	ATA	CGG	TAC	AGA	TGG	CAA	GCG	GTC	TGA	120 <i>40</i>
		_														-Trp-					
	GGT	CTC	TTC	TCC	GAC	CTC	ACC	CAG	CGT	AGG	AAA	TCA	TTA	CCA	CCA	ATC TAG -Ile-	TGG	ATG	ATA	GGT	180 <i>60</i>
		1	_				_									AAC					240
	CTG	TCA	CAC	TTC	CCG	GCT	AAG	TGG	TAG	AGG	TCT	CTA	ATT	CGG	TCC	TTG -Asn-	TAG	GAC	ATG	GAC	80
241	CAA	ATG	ACC	AGT	CTG	AGG	TCT	GAG	GAC	ACG	GCC	ATT	TAT	TAC	TGT	GCA	AGA	GGC	TAT		300
81	GTT Gln	TAC Met	TGG Thr	TCA Ser	GAC Leu	TCC -Arg	AGA Ser	CTC -Glu	CTG Asp	TGC Thr	CGG -Ala	TAA -Ile-	ATA Tyr	ATG Tyr-	ACA -Cys	CGT -Ala	TCT -Arg-	CCG -Gly-	ATA Tyr-	CCA -Gly	100
301	CCT	GCT	TAC	TGG	GGC	CAA	GGT	ACC	CTG	GTC	ACT TGA	GTC	TCT	TCC	GGA CCT	GGA CCT	GGC	GGT CCA	TCA AGT	GGC CCG	360
101	Pro	-Ala	-Tyr	-Trp	-Gly	-Gln	-Gly	-Thr	-Leu	-Val	-Thr	-Val	-Ser	-Ser	QÉ9-	-CAY	roi V	(CLY	ser	Gly	120
	CCT	CCA	CCG	AGA	CCG	CCA	CCG	CCT	AGG	GTC	CGA	CAA	CAC	TGA	GTC	GAA CTT	AGA	CGT	GAG	TGG	420
121	Gliy	HGM K	inker	HSEX	101Y	-GLY	#GIV	FG DY	ų gėr	-Gln VL	-Ala  →	-Val	-Val	-Thr	-Gln	-Glu	-Ser	-Ala·	-Leu-	-Thr	140
	TGT	AGT	GGA	CCA	CTT	TGT	CAG	TGT	GAG	TGA	ACA	GCG	AGT	TCA	TGA	GGG CCC -Gly	CGA	CAA	TGT	TGA	480 160
	GAA	TTG	ATA	CGG	TTG	ACC	CAG	GTT	CTT	TTT	GGT	CTA	GTA	AAT	AAG	ACT TGA Thr	CCA	GAT	TAT	CCA	540 180
																TCC					600
	TTA	TGG	TTG	TTG	GCT	CGA	GGT	CCA	CAA	GGA	CGG	TCT	AAG	AGT	CCG	AGG -Ser	GAC	TAA	CCT	CTG	200
601	AAG	GCI	GCC	CTC	ACC	ATC	ACA	GGG	GCA	CAG	ACT	GAG	GAT	GAG	GCA	ATA	TAT	TTC	TGT	GCT	660
201	Lys	-Ala	-Ala	-Leu	TGG -Thr	-Ile	TGT Thr	-Gly	-Ala	-Gln	TGA Thr	-Glu	-Asp	-Glu	-Ala	TAT -Ile	-Tyr	-Phe	-Cys	-Ala	220
	GAT	ACC	: ATG	TCG	TTG	GTA	AAC	CAC	: AAG	CCP	CCT	CCT	TGG	TTI	' GAC	ACT	CAG	GAT	CCG		
221	Leu	-Trr	-Tyr	-Ser	-Asn	-His	-Leu	-Val	-Phe	-Gly	-Gly	-Gly	-Thr	-Lys	-Leu	-Thr	-Val	-Leu	-Gly	239	

4/11

## 第6図

## Dx3860LH scFv

1	CAG	GCT	GTT	GTG CAC	ACT	CAG	GAA	TCT	GCA	CTC	ACC	ACA	TCA	CCT	GGT	GAA	ACA	GTC	ACA	CTC	60
1	GIC Gln- VL	Ala-	·Val-	-Val-	Thr-	Gln-	·Glu-	Ser-	Ala-	Leu-	Thr-	Thr-	Ser-	·Pro-	-Gly-	Glu-	Thr-	Val-	Thr-	Leu	20
	TGA	ACA	GCG	TCA AGT	TCA	TGA	CCC	CGA	CAA	TGT	TGA	GAA	TTG	ATA	CGG	TTG	ACC	CAG	GTT	CTT	120
21	Thr-	Сув-	Arg-	-Ser-	Ser-	·Thr-	-Gly-	-Ala-	·Val-	·Thr-	-Thr-	-Leu-	·Asn-	-Tyr-	-Ala-	-Asn-	Trp-	-vaı-	-GIN-	GIU	40
	ጥጥጥ	でらず	CTA	CAT GTA	TAA	AAG	TGA	CCA	GAT	TAT	CCA	TTA	TGG	TTG	TTG	GCT	CGA	GGT	CCA	CAA	180 <i>60</i>
				-His-																	
	GGA	CGG	TCT	TTC AAG -Phe-	AGT	CCG	AGG	GAC	TAA	CCT	CTG	TTC	CGA	CGG	GAG	TGG	TAG	TGT	CCC	CGT	240 80
			_																		
	GTC	TGA	CTC	GAT CTA -Asp-	CTC	CGT	TAT	ATA	AAG	ACA	CGA	GAT	ACC	ATG	TCG	TTG	GTA	AAC	ÇAC	AAG	300 100
																					260
	CCA	CCT	CCT	ACC TGG Thr	TTT	GAC	TGA	CAG	GAT	CCG	AGG	CCT	CCT	CCG	CCA	AGT	CCG	CCT	CCA	CCG	360 120
	_	i															Linke	r			420
	ACA	CCE	CCA	GGC DOO WIIDH	CCT	ACC	CTT	CAC	ጥጥር	GAC	CAC	CTC	AGG	CCC	CCT	CCG	AAT	CAC	TTC	GGA -Pro	140
		:					VH	<b> </b> →												ATG	480
	CCT	CCC	AGG	GAC	TTT	GAG	AGG	ACA	CGT	CGG	AGA	CCT	AAG	TGA	AAG	TCA	AGG	ATA	CGG	TAC -Met	160
																				GGT	540
	AGA	ACC	CAA	GCG	GTC	TGA	GGT	CTC	TTC	TCC	GAC	CTC	ACC	CAG	CGT	AGG	AAA	TÇA	TTA	CCA -Gly	180
541	GGT	ATC	ACC	TAC	TAT	CCA	GAC	AGT	GTG	AAG	GGC	CGA	TTC	ACC	: ATC	TCC	AGA	GAT	AAT	GCC	600
	CCA	TAG	TGG	ATG	ATA	GGT	CTG	TCA	CAC	TTC	CCG	GCT	AAG	TGG	TAG	AGG	TCT	CTA	. TTA	-Ala	200
601	AGG	AAC	ATC	CTG	TAC	CTG	CAA	ATG	ACC	AGT	CTG	AGG	TCT	GAG	GAC	ACG	GCC	ATT	TAT	TAC	660
	TCC	TTG	TAG	GAC	ATG	GAC	GTT	TAC	TGG	TÇA	GAC	TCC	AGA	CTC	CTO	TGC	CGG	TAA	ATA	ATG -Tyr	220
661	TGT	GCA	AGA	GGC	TAT	GGT	CCI	GCI	' TAC	TGG	GGC	CAA	GGG	ACT	CTC	GTC	ACI	GTC	TCT	GCA	720
221	ACA Cvs	CGT -Ala	TCT -Arc	CCG -Glv	ATA TVI	CCA Glv	GGA -Pro	CGA -Ala	ATG	ACC	CCG G-Gly	GIT -Gln	-G13	: TGA -Thr	GAC -Lev	, CAG 1-Val	-Thr	-Val	. AGA Ser	CGT -Ala	240

WO 2004/087764 PCT/JP2004/004355

5/11

## 第7図

### D x 3150H L sc F v

GAT GTA CAG CTT CAG GAG TCA GGA CCT GGC CTC GTG AAA CCT TCT CAG TCT CTC CTC CTA CAT GTC GAA GTC CTC AGT CCT GGA CCG GAG CAC TTT GGA AGA GTC AGA GAC AGA GAG Asp-Val-Gln-Leu-Gln-Glu-Ser-Gly-Pro-Gly-Leu-Val-Lys-Pro-Ser-Gln-Ser-Leu-Ser-Leu-Val-Lys-Pro-Ser-Gln-Ser-Leu-Ser-Leu-Val-Lys-Pro-Ser-Gln-Ser-Leu-Ser-Leu-Val-Lys-Pro-Ser-Gln-Ser-Leu-Ser-Leu-Val-Lys-Pro-Ser-Gln-Ser-Leu-Ser-Leu-Val-Lys-Pro-Ser-Gln-Ser-Leu-Ser-Leu-Val-Lys-Pro-Ser-Gln-Ser-Leu-Ser-Leu-Val-Lys-Pro-Ser-Gln-Ser-Leu-Ser-Leu-Val-Lys-Pro-Ser-Gln-Ser-Leu-Val-Lys-Pro-Ser-Leu-Val-Lys-Pro-Ser-Leu-Val-Lys-Pro-Ser-Leu-Val-Lys-Pro-Ser-Leu-Val-Lys-Pro-Ser-Lys-Lys-Lys-Lys-Lys-Lys-Lys-Lys-Lys-Lys	
ACC TET TCT GTC ACT GGC TAC TCC ATC ACC AGT GGC TTT TAC TGG AAC TGG ATT CGG CAG TGG ACA AGA CAG TGA CCG ATG AGG TAG TGG TCA CCG AAA ATG ACC TTG ACC TAA GCC GTC Thr-Cyb-Ser-Val-Thr-Gly-Tyr-Ser-Ile-Thr-Ser-Gly-Phe-Tyr-Trp-Asn-Trp-Ile-Arg-Gln	
TTT CCA GGA AAC AAA CTG GAA TGG ATG GGC TAC ATA AGC TAC GAC GGT TAC AAT AAT TAC AAA GGT CCT TTG TTT GAC CTT ACC TAC CCG ATG TAT TCG ATG CTG CCA ATG TTA TTA ATG Phe-Pro-Gly-Asn-Lys-Leu-Glu-Trp-Met-Gly-Tyr-Ile-Ser-Tyr-Asp-Gly-Tyr-Asn-Asn-Tyr	
AAC CCA TTT CTC AAA AAT CGA GTG TCC ATC ACT CGT GAC ACA TCT GAG AAC CAG TTT TTC TTG GGT AAA GAG TTT TTA GCT CAC AGG TAG TGA GCA CTG TGT AGA CTC TTG GTC AAA AAG Asn-Pro-Phe-Leu-Lys-Asn-Arg-Val-Ser-Ile-Thr-Arg-Asp-Thr-Ser-Glu-Asn-Gln-Phe-Phe	;
CTG AAG TTG CAT TCT GTG ACT ACT GAG GAC ACA GCT ACA TAT TAC TGT GTA AGT TAC GGT GAC TTC AAC GTA AGA CAC TGA TGA CTC CTG TGT CGA TGT ATA ATG ACA CAT TCA ATG CCA Leu-Lys-Leu-His-Ser-Val-Thr-Thr-Glu-Asp-Thr-Ala-Thr-Tyr-Tyr-Cys-Val-Ser-Tyr-Gly	
AGT CGG AGG GGA GTT ACC TAC TGG GGC CAA GGT ACC ACT CTC ACA GTC TCC TCC GGA GGA TCA GCC TCC CCT CAA TGG ATG ACC CCG GTT CCA TGG TGA GAG TGT CAG AGG CCT CCT Ser-Arg-Arg-Gly-Val-Thr-Tyr-Trp-Gly-Gln-Gly-Thr-Thr-Leu-Thr-Val-Ser-Ser-	
GGC GGT TCA GGC GGA GGT GGC TCT GGC GGT GGC GGA TCC CAG GCT GTT GTG ACT CAG GAP CCG CCA AGT CCG CCT AGG GTC CGA CAA CAC TGA GTC CTT HIMEN CONTROL CONT	•
TCT GCA CTC ACC ACA TCA CCT GGT GAA ACA GTC ACA CTC ACT TGT CGC TCA AGT ACT GGG AGA CGT GAG TGG TGT AGT GGA CCA CTT TGT CAG TGT GAG TGA ACA GCG AGT TCA TGA CCC Ser-Ala-Leu-Thr-Thr-Ser-Pro-Gly-Glu-Thr-Val-Thr-Leu-Thr-Cys-Arg-Ser-Ser-Thr-Gly	:
GCT GTT ACA ACT AGT AAC TAT GCC AAC TGG GTC CAA GAA AAA CCA GAT CAT TTA TTC ACT CGA CAA TGT TGA TCA TTG ATA CGG TTG ACC CAG GTT CTT TTT GGT CTA GTA AAT AAG TGA Ala-Val-Thr-Thr-Ser-Asn-Tyr-Ala-Asn-Trp-Val-Gln-Glu-Lys-Pro-Asp-His-Leu-Phe-Thr	1
GGT CTA ATA GGT AAT ACC AAC AAC CGA GCT CCA GGT GTT CCT GCC AGA TTC TCT GGC TCC CCA GAT TAT CCA TTA TGG TTG TTG GCT CGA GGT CCA CAA GGA CGG TCT AAG AGA CCG AGC Gly-Leu-Ile-Gly-Asn-Thr-Asn-Asn-Arg-Ala-Pro-Gly-Val-Pro-Ala-Arg-Phe-Ser-Gly-Ser	3
CTG ATT GGA GAC AAG GCT GCC CTC ACC ATC ACA GGG GCA CAG ACT GAG GAT GAG GCG ATA GAC TAA CCT CTG TTC CGA CGG GAG TGG TAG TGT CCC CGT GTC TGA CTC CTA CTC CGC TAT Leu-Ile-Gly-Asp-Lys-Ala-Ala-Leu-Thr-Ile-Thr-Gly-Ala-Gln-Thr-Glu-Asp-Glu-Ala-Ile	7
TAT TTC TGT GCT CTT TGG TAC AAC ACC CAT TTG GTG TTC GGT GGA GGA ACC AGA CTG ACC ATA AAG ACA CGA GAA ACC ATG TTG TGG GTA AAC CAC AAG CCA CCT CCT TGG TCT GAC TG/	A
GTC CTA GGC 729 CAG GAT CCG Val-Leb-Gly 243	

<sup>241</sup> Val-Leu-Gly 243

6/11

#### 第8図

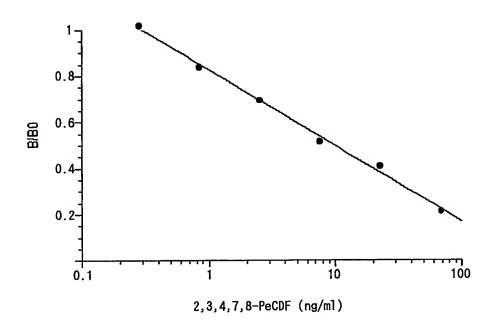
D×3150LH scFv 1 CAG GCT GTT GTG ACT CAG GAA TCT GCA CTC ACC ACA TCA CCT GGT GAA ACA GTC ACA CTC GTC CGA CAA CAC TGA GTC CTT AGA CGT GAG TGG TGT AGT GGA CCA CTT TGT CAG TGT GAG I Gln-Ala-Val-Thr-Gln-Glu-Ser-Ala-Leu-Thr-Thr-Ser-Pro-Gly-Glu-Thr-Val-Thr-Leu 60 20 61 ACT TGT CGC TCA AGT ACT GGG GCT GTT ACA ACT AGT AAC TAT GCC AAC TGG GTC CAA GAA 120
TGA ACA GCG AGT TCA TGA CCC CGA CAA TGT TGA TCA TTG ATA CGG TTG ACC CAG GTT CTT
21 Thr-Cy\$-Arg-Ser-Ser-Thr-Gly-Ala-Val-Thr-Thr-Ser-Asn-Tyr-Ala-Asn-Trp-Val-Gln-Glu 40 121 AAA CCA GAT CAT TTA TTC ACT GGT CTA ATA GGT AAT ACC AAC ACC CGA GCT CCA GGT GTT 180
TTT GGT CTA GTA AAT AAG TGA CCA GAT TAT CCA TTA TGG TTG TTG GCT CGA GGT CCA CAA 41 Lys-Pro-Asp-His-Leu-Phe-Thr-Gly-Leu-Ile-Gly-Asn-Thr-Asn-Asn-Arg-Ala-Pro-Gly-Val 181 CCT GCC AGA TTC TCT GGC TCC CTG ATT GGA GAC AAG GCT GCC CTC ACC ATC ACA GGG GCA GGA CGG TCT AAG AGA CCG AGG GAC TAA CCT CTG TTC CGA CGG GAG TGG TAG TGT CCC CGT 61 Pro-Ala-Arg-Phe-Ser-Gly-Ser-Leu-Ile-Gly-Asp-Lys-Ala-Ala-Leu-Thr-Ile-Thr-Gly-Ala 240 241 CAG ACT GAG GAT GAG GCG ATA TAT TTC TGT GCT CTT TGG TAC AAC ACC CAT TTG GTG TTC GTC TGA CTC CTA CTC CGC TAT ATA AAG ACA CGA GAA ACC ATG TTG TGG GTA AAC CAC AAG 81 Gln-Thr-Glu-Asp-Glu-Ala-Ile-Tyr-Phe-Cys-Ala-Leu-Trp-Tyr-Asn-Thr-His-Leu-Val-Phe 100 301 GGT GGA GGA ACC AGA CTG ACT GTC CTA GGC TCC GGA GGA GGC GGT TCA GGC GGA GGT GGC CCA CCT CCT TGG TCT GAC TGA CAG GAT CCG AGG CCT CCT CCG CCA AGT CCG CCT CCA CCG CCA CCT CCA CCC CCA CCT CC 361 TCT GGC GGT GGC GGA TCC GAT GTA CAG CTT CAG GAG TCA GGA CCT GGC CTC GTG AAA CCT
AGA CCG CCA CCG CCT AGG CTA CAT GTC GAA GTC CTC AGT CCT GGA CCG GAG CAC TTT GGA
121 \$\frac{1}{2}\frac{1 421 TCT CAG TCT CTG TCT CTC ACC TGT TCT GTC ACT GGC TAC TCC ATC ACC AGT GGC TTT TAC AGA GTC AGA GAC AGA GAG TGG ACA AGA CAG TGA CCG ATG AGG TAG TGG TCA CCG AAA ATG 141 Ser-Glh-Ser-Leu-Ser-Leu-Thr-Cys-Ser-Val-Thr-Gly-Tyr-Ser-Ile-Thr-Ser-Gly-Phe-Tyr 480 160 481 TGG AAC TGG ATT CGG CAG TTT CCA GGA AAC AAA CTG GAA TGG ATG GGC TAC ATA AGC TAC ACC TTG ACC TAA GCC GTC AAA GGT CCT TTG TTT GAC CTT ACC CCG ATG TAT TCG ATG 161 Trp-Ash-Trp-Ile-Arg-Gln-Phe-Pro-Gly-Asn-Lys-Leu-Glu-Trp-Met-Gly-Tyr-Ile-Ser-Tyr 541 GAC GGT TAC AAT AAT TAC AAC CCA TTT CTC AAA AAT CGA GTG TCC ATC ACT CGT GAC ACA CTG CCA ATG TTA TTA ATG TTG GGT AAA GAG TTT TTA GCT CAC AGG TAG TGA GCA CTG TGT 181 Asp-Gly-Tyr-Asn-Asn-Tyr-Asn-Pro-Phe-Leu-Lys-Asn-Arg-Val-Ser-Ile-Thr-Arg-Asp-Thr 600 601 TCT GAG AAC CAG TTT TTC CTG AAG TTG CAT TCT GTG ACT ACT GAG GAC ACA GCT ACA TAT AGA CTC TTG GTC AAA AAG GAC TTC AAC GTA AGA CAC TGA TGA CTC CTG TGT CGA TGT ATA 201 Ser-Glu-Asn-Gln-Phe-Phe-Leu-Lys-Leu-His-Ser-Val-Thr-Thr-Glu-Asp-Thr-Ala-Thr-Tyr 660 661 TAC TGT GTA AGT TAC GGT AGT CGG AGG GGA GTT ACC TAC TGG GGC CAA GGC ACC ACT CTC
ATG ACA CAT TCA ATG CCA TCA GCC TCC CCT CAA TGG ATG ACC CCG GTT CCG TGG TGA GAG

221 Tyr-Cys-Val-Ser-Tyr-Gly-Ser-Arg-Arg-Gly-Val-Thr-Tyr-Trp-Gly-Gln-Gly-Thr-Thr-Leu

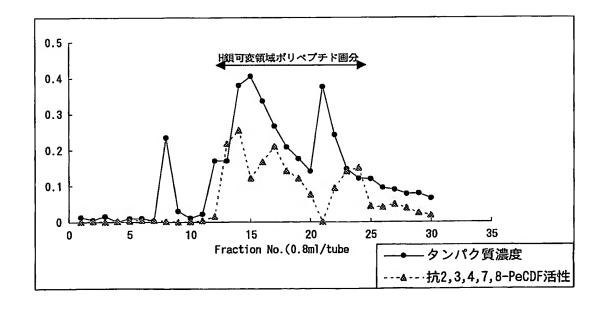
240 721 ACA GTC TCC TCA 732 TGT CAG AGG AGT

7/11

第9図



第10図



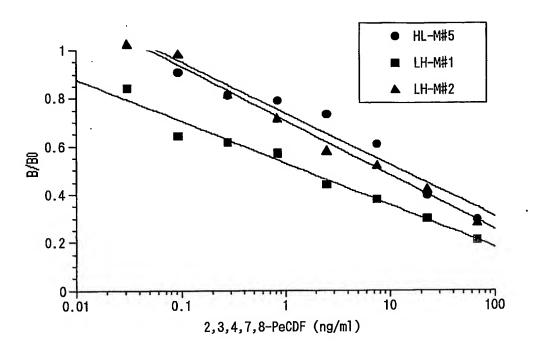
8/11

# 第11図

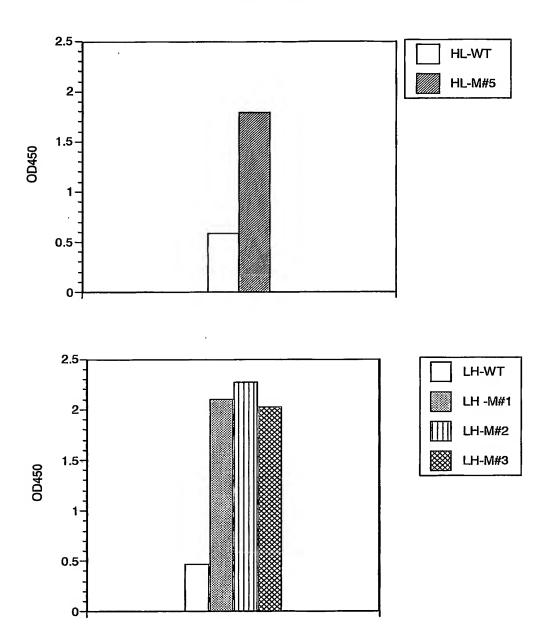
WT	10 20 30 40  EVKLVESGGGLVKPGGSLKLSCAASGFTFSSYAMSWVRQT
HL-M#5 LH-M#1 LH-M#2 LH-M#3	
WT HL-M#5 LH-M#1 LH-M#2 LH-M#3	CDR 2 50 60 70 80  PEKRLEWVASFSNGGITYYPDSVKGRFTISRDNARNILYLL
WT HL-M#5 LH-M#1 LH-M#2 LH-M#3	CDR 3         90       100       110       114         QMTSLRSEDTAIYYCARGYGPAYWGQGTLVTVSA

WO 2004/087764 PCT/JP2004/004355

9/11 第12図

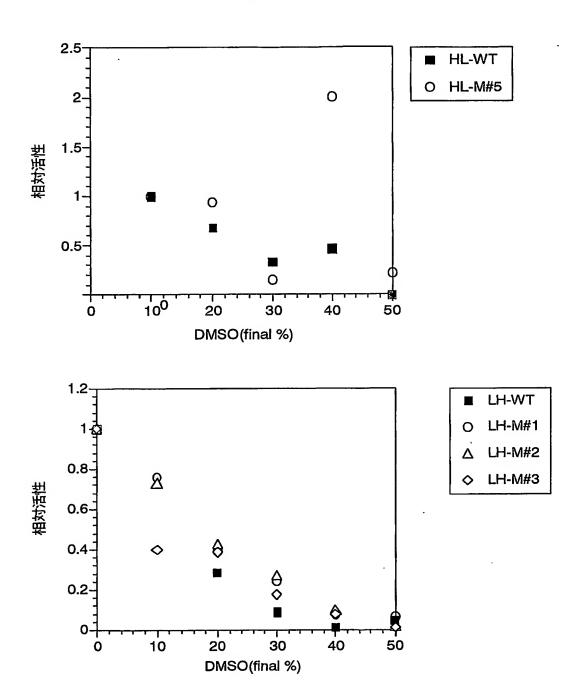


10/11 第13図



11/11

第14図



PCT/JP2004/004355

# 1/28

# 配列表 SEQUENCE LISTING

<110>	Kyo	oto E	ectro	nics	Man	ufac	turi	ng C	0.,	Ltd.					
<120>		Recombinant antibody recognizing dioxin and gene encoding said antibody													
<130>	664	4413													
<150> <151>	_	JP 2003-091663 2003-03-28													
<160>	67														
<210> <211> <212> <213>	34: DN	1 342 DNA Unknown													
<220> <223>	In In	vento	r: Sav r: Hig r: Kat	gano,	Kei	ichi		·i							
<220> <223>	DN		oding nal an					l-cha	in v	aria	ble	regi	on c	f	
<400>															0.
			g gtg u Val 5												48
			c tcc u Ser												96
	let S		g gtt p Val												144
Āla S			t aat r Asn												192
			c atc r Ile												240
			t ctg r Leu 85												288

aga ( Arg (																336
tct Ser	_										٠					342
<210 <211 <212 <213 <220	> ; > ; > ;	2 330 DNA Unkno														
<223		DNA e monoc							-cha	in v	varia	able	regi	ion o	of	
	gct	2 gtt Val														48
		aca Thr														96
		gcc Ala 35														144
		ggt Gly														192
		tcc Ser														240
		gag Glu														288
		gtg Val		Gly					Leu							330
<210 <211 <212 <213	1> 2> 3>	3 354 DNA Unkn	own													
<220 <223		DNA	enco	ding	pol	урер	tide	of	H-ch	ain	vari	able	reg	ion	of	

# monoclonal antibody Dx 3150

<400> 3				
gat gta cag ctt Asp Val Gln Leu 1				
tct ctg tct ctc Ser Leu Ser Leu 20				
ttt tac tgg aac Phe Tyr Trp Asn 35				
atg ggc tac ata Met Gly Tyr Ile 50				
aaa aat cga gtg Lys Asn Arg Val 65				
ctg aag ttg cat Leu Lys Leu His				
gta agt tac ggt Val Ser Tyr Gly 100	Ser Arg Arg			
act ctc aca gtc Thr Leu Thr Val 115				354
<210> 4 <211> 330 <212> DNA <213> Unknown				
	ding polyper al antibody	nain variable	region of	
<400> 4 cag gct gtt gtg Gln Ala Val Val 1				
aca gtc aca ctc Thr Val Thr Leu 20				

								-	, 20							
aac Asn	tat Tyr	gcc Ala 35	aac Asn	tgg Trp	gtc Val	caa Gln	gaa Glu 40	aaa Lys	cca Pro	gat Asp	cat His	tta Leu 45	ttc Phe	act Thr	ggt Gly	144
cta Leu	ata Ile 50	ggt Gly	aat Asn	acc Thr	aac Asn	aac Asn 55	cga Arg	gct Ala	cca Pro	ggt Gly	gtt Val 60	cct Pro	gcc Ala	aga Arg	ttc Phe	192
	ggc Gly															240
cag Gln	act Thr	gag Glu	gat Asp	gag Glu 85	gcg Ala	ata Ile	tat Tyr	ttc Phe	tgt Cys 90	gct Ala	ctt Leu	tgg Trp	tac Tyr	aac Asn 95	acc Thr	288
cat His	ttg Leu	gtg Val	ttc Phe 100	ggt Gly	gga Gly	gga Gly	acc Thr	aga Arg 105	ctg Leu	act Thr	gtc Val	cta Leu	ggc Gly 110			330
<21 <21 <21 <21 <22 <22	1> 2> 3> 0> 3>	5 114 PRT Unkno Polymono	pept						ble :	regi	on o	f				
	00> ιVal		Leu	Val 5	Glu	Ser	Gly	Gly	Gly 10	Leu	Val	Lys	Pro	Gly 15	Gly	
Sei	Leu	Lys	Leu 20	Ser	Cys	Ala	Ala	Ser 25	Gly	Phe	Thr	Phe	Ser 30	Ser	Tyr	
Ala	a Met	Ser 35	Trp	Val	Arg	Gln	Thr 40	Pro	Glu	Lys	Arg	Leu 45	Glu	Trp	Val	
Ala	a Ser 50	Phe	Ser	Asn	G1y	G1y 55	Ile	Thr	Tyr	Tyr	Pro 60	Asp	Ser	· Val	Lys	
G1: 65	y Arg	Phe	Thr	· Ile	Ser 70	Arg	g Asp	Asr	Ala	Arg 75	g Asr	ı Ile	Leu	ı Tyr	Leu 80	
Glı	n Met	Thr	Ser	Leu 85	Arg	Ser	Glu	ı Asp	Thr 90	· Ala	ı Ile	e Tyr	· Tyr	Cys 95	: Ala	
Ar	g Gly	Tyr	Gly 100		Ala	Туг	Trp	Gl <sub>3</sub> 105		Gly	Thi	Leu	Val		· Val	
Se																

<210 <211 <212 <213 <220	> > >	6 11 PF Ur		wn												
<223				-		of L- ntibo				le r	egio	n of	•			
<400 G1n 1		6 . \	/al	Val	Thr 5	Gln	Glu	Ser	Ala	Leu 10	Thr	Thr	Ser	Pro	Gly 15	G1u
Thr	Val	. 1		Leu 20	Thr	Cys	Arg	Ser	Ser 25	Thr	Gly	Ala	Val	Thr 30	Thr	Leu
Asn	Tyr		Ala 35	Asn	Trp	Val	Gln	Glu 40	Lys	Pro	Asp	His	Leu 45	Phe	Thr	G1y
Leu	I1∈ 50	) (	Gly	Asn	Thr	Asn	Asn 55	Arg	Ala	Pro	Gly	Val 60	Pro	Ala	Arg	Phe
Ser 65	Gl3	r ;	Ser	Leu	Ile	Gly 70	Asp	Lys	Ala	Ala	Leu 75	Thr	Ile	Thr	Gly	Ala 80
Gln	Thi	<del>.</del> (	G1u	Asp	G1u 85	Ala	Ile	Tyr	Phe	Cys 90	Ala	Leu	Trp	Tyr	Ser 95	Asn
His	Leu	1	Val	Phe 100	Gly	Gly	Gly	Thr	Lys 105	Leu	Thr	Val	Leu	Gly 110		
<210 <211 <212 <213 <220 <223	!> ?> ?> ?>	P U P	18 RT nkno	pept		of H				ble :	regio	on o	f			
<400 Asp 1		7	•							Gly 10	Leu	Val	Lys	Pro	Ser 15	Gln
Ser	Le	u	Ser	Leu 20	Thr	Cys	Ser	Val	Thr 25	G1y	Tyr	Ser	Ile	Thr 30	Ser	G1y
Phe	Ty:	r	Trp 35	Asn	Trp	Ile	Arg	Gln 40	Phe	Pro	Gly	Asn	Lys 45	Leu	Glu	Trp
Met	G1 50	у	Tyr	Ile	Ser	Tyr	Asp 55	Gly	Tyr	Asn	Asn	Tyr 60	Asn	Pro	Phe	Leu

6/28

Lys Asn Arg Val Ser Ile Thr Arg Asp Thr Ser Glu Asn Gln Phe Phe 65 70 75 80

Leu Lys Leu His Ser Val Thr Thr Glu Asp Thr Ala Thr Tyr Cys 85 90 95

Val Ser Tyr Gly Ser Arg Arg Gly Val Thr Tyr Trp Gly Gln Gly Thr 100 · 105 110

Thr Leu Thr Val Ser Ser 115

<210> 8

<211> 110

<212> PRT

<213> Unknown

<220>

<223> Polypeptide of L-chain variable region of monoclonal antibody Dx 3150

<400> 8

Gln Ala Val Val Thr Gln Glu Ser Ala Leu Thr Thr Ser Pro Gly Glu
1 5 10 15

Thr Val Thr Leu Thr Cys Arg Ser Ser Thr Gly Ala Val Thr Thr Ser 20 25 30

Asn Tyr Ala Asn Trp Val Gln Glu Lys Pro Asp His Leu Phe Thr Gly 35 40 45

Leu Ile Gly Asn Thr Asn Asn Arg Ala Pro Gly Val Pro Ala Arg Phe 50 55 60

Ser Gly Ser Leu Ile Gly Asp Lys Ala Ala Leu Thr Ile Thr Gly Ala 65 70 75 80

Gln Thr Glu Asp Glu Ala Ile Tyr Phe Cys Ala Leu Trp Tyr Asn Thr 85 90 95

His Leu Val Phe Gly Gly Gly Thr Arg Leu Thr Val Leu Gly 100 105 110

<210> 9

<211> 8

<212> PRT

<213> Unknown

<220>

<223> Peptide of CDR 1 in H-chain variable region of monoclonal antibody Dx 3860

<400> 9

```
Gly Phe Thr Phe Ser Ser Tyr Ala
               5
<210> 10
<211> 7
<212> PRT
<213>
      Unknown
<220>
<223>
      Peptide of CDR 2 in H-chain variable region of
       monoclonal antibody Dx 3860
<400> 10
Phe Ser Asn Gly Gly Ile Thr
                5
<210> 11
<211> 8
<212> PRT
<213> Unknown
<220>
<223> Peptide of CDR 3 in H-chain variable region of
       monoclonal antibody Dx 3860
<400> 11
Ala Arg Gly Tyr Gly Pro Ala Tyr
                5
⟨210⟩ 12
<211> 9
<212> PRT
<213> Unknown
<220>
<223>
       Peptide of CDR 1 in L-chain variable region of
       monoclonal antibody Dx 3860
<400> 12
Thr Gly Ala Val Thr Thr Leu Asn Tyr
                5
<210> 13
⟨211⟩ 8
<212> PRT
<213> Unknown
<220>
<223>
       Peptide of CDR 3 in L-chain variable region of
       monoclonal antibody Dx 3860
<400> 13
Ala Leu Trp Tyr Ser Asn His Leu
```

```
1
               5
⟨210⟩ 14
<211> 9
<212> PRT
<213>
      Unknown
<220>
<223> Peptide of CDR 1 in H-chain variable region of
       monoclonal antibody Dx 3150
<400> 14
Gly Tyr Ser Ile Thr Ser Gly Phe Tyr
                5
<210> 15
<211> 7
<212> PRT
<213>
       Unknown
<220>
⟨223⟩
       Peptide of CDR 2 in H-chain variable region of
       monoclonal antibody Dx 3150
<400> 15
Ile Ser Tyr Asp Gly Tyr Asn
1
<210> 16
<211> 11
<212>
      PRT
⟨213⟩
      Unknown
<220>
<223>
       Peptide of CDR 3 in H-chain variable region of
       monoclonal antibody Dx 3150
<400> 16
Val Ser Tyr Gly Ser Arg Arg Gly Val Thr Tyr
<210> 17
<211> 9
<212> PRT
⟨213⟩ Unknown
<220>
       Peptide of CDR 1 in L-chain variable region of
<223>
       monoclonal antibody Dx 3150
<400> 17
Thr Gly Ala Val Thr Thr Ser Asn Tyr
1
                5
```

	18 9 PRT Unknown	
<220> <223>	Peptide of CDR 3 in L-chain variable region of monoclonal antibody Dx 3150	
<400> Ala Le 1	18 u Trp Tyr Asn Thr His Leu Val 5	
<210> <211> <212> <213> <220>	19 33 DNA Artificial Sequence	
<223>	Primer	
<400> gggaat	19 tcat grasttskgg ytmarctkgr ttt	33
<210> <211> <212> <213> <220> <223>		
<400> actagt	20 ccgac atggreagre ttacwtyyte attect	36
<210><211><211><212><213><220>	36 DNA Artificial Sequence	
	Primer	
<400> actag	21 tcgac atgatggtgt taagtcttct gtacct	. 36
<210> <211> <212> <213>	36 DNA	

<220> <223>	Primer	
<400> actagto	22 cgac atgggatgga gctrtatcat sytctt	36
<220> <221>	Artificial Sequence	
<400> cccaag	23 cttc cagggrccar kggataracn grtgg	35
<210> <211> <211> <212> <213> <220>	33	
	Primer	
	24 tcat ggcctggayt ycwctywtmy tct	33
	DNA Artificial Sequence  modified base (24)(24)	
<400>		32
<220>	20 DNA Artificial Sequence	
<400> taata	26 cgact cactataggg	20

	27 45 DNA Artificial Sequence Linker	
\4437	Linker	
<400>	27	4.5
ggaggag	ggcg gttcaggcgg aggtggctct ggcggtggcg gatcc	<b>4</b> 5
<210>	28	
<211>	33	
	DNA	
	Artificial Sequence	
<220> <223>	Primer	
12207	11 Incl	
<400>	28	
gaccat	ggaa gtgaagctgg tggagtccgg ggg	33
<210>	29	
<211>	34	
<212>	DNA	
<213>	Artificial Sequence	
<220>		
<223>	Primer	
<400>	29	
	gaag agacagtgac cagggtacct tggc	34
<210>	30	
<210> <211>	32	
<212>	DNA	
	Artificial Sequence	
<220>	oll location of decision of the control of the	
	Primer	
(400)	20	
<400>	ccca ggctgttgtg actcaggaat ct	32
gcggat	coca ggotgitigig actoaggaat of	<b>0</b> 2
40 - 51		
<210>		
<211>		
〈212〉		
<213> <220>	Artificial Sequence	
<223>	Primer	
\2007	a & A.M.Y.	

<400>	31	
gagcgg	ccgc gcctaggaca gtcagtttgg t	31
<210>	32	
<211>	40	
<212>	DNA	
<213>	Artificial Sequence	
<220>		
<223>	Primer	
<400>	32	
ggtacco	ctgg tcactgtctc ttccggagga ggcggttcag	40
<210>	33	
<211>	41	
<212>	DNA	
<213>	Artificial Sequence	
(220)	viiioidi boquonov	
<223>	Primer	
12207	1 I Inoi	
<400>	33	
	ctga gtcacaacag cctgggatcc gccaccgcca g	41
agatto	orga groundations corps garden boundaries 5	
<210>	34	
<211>		
<212>		
<213>		
<220>	At tilletal bequence	
<223>	Primer	
\2407	1 1 TIMET	
<400>	34	
	ggcc caggctgttg tgactcagga atct	34
gaccat	ggot caggotgotg tgactcagga atot	0-1
<210>	35	
<211>	35	
<211>	DNA	
<213>		
<220>	Artificial Sequence	
	Primer	
\443/	rrimer	
<400>	35	
		35
colocg	gagc ctaggacagt cagtttggtt cctcc	30
<210>	36	
<210> <211>		
<212>		
<213> <220>	Artificial Sequence	
V. /. / 3.1. /		

<223>	Primer	
<400> gcggato	36 ccga agtgaagctg gtggagtccg ggggagg	37
<213> <220> <223>	37 31 DNA Artificial Sequence Primer 37	
	ccgc tgcagagaca gtgaccagag t	31
<210> <211> <212> <213> <220> <223>	38 40 DNA Artificial Sequence Primer	
<400>	38	40
accaaa	ctga ctgtcctagg ctccggagga ggcggttcag	40
<210><211><211><212><213><220><223>	DNA	
<400>	39	
	ctcc accagettca etteggatee gecacegeca g	41
<210> <211> <212> <213> <220>	DNA	
	Primer	
<400> gaccat	40 ggat gtacagette aggagteagg ace	33
<210><211><211>	28	

<213>	Artificial Sequence	
<220>		
<223>	Primer	
<400>	41	
		28
	40	
<210> <211>	42	
<211> <212>	28	
	DNA	
<213>	Artificial Sequence	
<220>	Primer	
\4407	rimer	
<400>	42	
actgga	actg gattcggcag tttccagg	28
⟨210⟩	43	
<211>		
<211>		
<213>		
<220>	Altilicial bequence	
	Primer	
\2207	111mer	
<400>	43	
cctccg	gagg agactgtgag agtggtacct tggc	34
<210>	44	
(211)	32	
<212>		
<213>		
<220>	in ciliciai boquenoo	
	Primer	
<400>		00
gcggat	ccca ggctgttgtg actcaggaat ct	32
<210>	45	
<211>	31	
<212>		
<213>		
<220>		
	Primer	
<400>	45	01
gagcgg	ccgc gcctaggaca gtcagtctgg t	31
<210>	46	

0 200		
	15/28	
<220> <223>	Primer	
<400> ggtacca	46 actc tcacagtete etecggagga ggeggtteag	40
<212>	47 41 DNA Artificial Sequence	
<223>	Primer	
	47 ctga gtcacaacag cctgggatcc gccaccgcca g	41
	48 34 DNA Artificial Sequence Primer	
<400> gaccat	48 ggcc caggctgttg tgactcagga atct	34
<210> <211> <212> <213> <220>		
	Primer	
<400> cctccg	49 gage ctaggacagt cagtetggtt cetee	35
<210> <211> <212> <213> <220> <223>	37	
\440/	1 T THICK	

37

<400> 50

gcggatccga tgtacagctt caggagtcag gacctgg

	•	
<210>	51	
<211>	28	
	DNA	
	Artificial Sequence	
<220>	D '	
<223>	Primer	
<400>	51	
		28
cctgga	aact geegaateea gtteeagt	20
<210>	52	
<211>	28	
<212>	DNA	
<213>		
	Artificial Sequence	
<220>	n.i	
<223>	Primer	
<400>	52	
	actg gattcggcag tttccagg	28
actgga	actg gattoggoag tittooagg	
<210>	53	
<211>	31	
<212>		
<213>		
<220>	Mitilioral bodachoo	
<223>	Primer	
\4237	rimer	
<400>	53	
	ccgc tgaggagact gtgagagtgg t	31
0-0-00		
<210>	54	
<211>	40	
<212>	DNA	
<213>	Artificial Sequence	
<220>	•	
	Primer	
12207	TIMOI	
<400>	54	
accaga	actga ctgtcctagg ctccggagga ggcggttcag	40
/C		
<210>		
<211>		
<212>		
<213>	Artificial Sequence	
<220>		
	Primer	
<400>	55	

tectgaetee tgaagetgta categgatee gecaeegeea g	41
<210> 56 <211> 717 <212> DNA <213> Unknown <220>	
<223> scFv fragment Dx3860HL	
<pre>&lt;400&gt; 56 gaa gtg aag ctg gtg gag tcc ggg gga ggc tta gtg aag cct gga ggg Glu Val Lys Leu Val Glu Ser Gly Gly Gly Leu Val Lys Pro Gly Gly 1 5 10 15</pre>	48
tcc ctg aaa ctc tcc tgt gca gcc tct gga ttc act ttc agt tcc tat Ser Leu Lys Leu Ser Cys Ala Ala Ser Gly Phe Thr Phe Ser Ser Tyr 20 25 30	96
gcc atg tct tgg gtt cgc cag act cca gag aag agg ctg gag tgg gtc Ala Met Ser Trp Val Arg Gln Thr Pro Glu Lys Arg Leu Glu Trp Val 35 40 45	144
gca tcc ttt agt aat ggt ggt atc acc tac tat cca gac agt gtg aag Ala Ser Phe Ser Asn Gly Gly Ile Thr Tyr Tyr Pro Asp Ser Val Lys 50 55 60	192
ggc cga ttc acc atc tcc aga gat aat gcc agg aac atc ctg tac ctg Gly Arg Phe Thr Ile Ser Arg Asp Asn Ala Arg Asn Ile Leu Tyr Leu 65 70 75 80	240
caa atg acc agt ctg agg tct gag gac acg gcc att tat tac tgt gca Gln Met Thr Ser Leu Arg Ser Glu Asp Thr Ala Ile Tyr Tyr Cys Ala 85 90 95	288
aga ggc tat ggt cct gct tac tgg ggc caa ggt acc ctg gtc act gtc Arg Gly Tyr Gly Pro Ala Tyr Trp Gly Gln Gly Thr Leu Val Thr Val 100 105 110	336
tct tcc gga gga ggc ggt tca ggc gga ggt ggc tct ggc ggt ggc gga Ser Ser Gly Gly Gly Ser Gly Gly Gly Gly Gly Gly Gly 115 120 125	384
tcc cag gct gtt gtg act cag gaa tct gca ctc acc aca tca cct ggt Ser Gln Ala Val Val Thr Gln Glu Ser Ala Leu Thr Thr Ser Pro Gly 130 135 140	432
gaa aca gtc aca ctc act tgt cgc tca agt act ggg gct gtt aca act Glu Thr Val Thr Leu Thr Cys Arg Ser Ser Thr Gly Ala Val Thr Thr 145 150 155 160	480
ctt aac tat gcc aac tgg gtc caa gaa aaa cca gat cat tta ttc act Leu Asn Tyr Ala Asn Trp Val Gln Glu Lys Pro Asp His Leu Phe Thr	528

		18/28	
1	165	170	175
		gct cca ggt gtt cct Ala Pro Gly Val Pro 190	
		gct gcc ctc acc atc Ala Ala Leu Thr Ile 205	
		ttc tgt gct cta tgg Phe Cys Ala Leu Trp 220	
		aaa ctg act gtc cta Lys Leu Thr Val Leu 235	
<210> 57 <211> 720 <212> DNA <213> Unknown <220> <223> scFv frag	ment Dx3860LH		
Gln Ala Val Val		a ctc acc aca tca cct a Leu Thr Thr Ser Pro 10	
		act ggg gct gtt aca Thr Gly Ala Val Thr 30	
		a cca gat cat tta ttc s Pro Asp His Leu Phe 45	
		t cca ggt gtt cct gcc a Pro Gly Val Pro Ala 60	
		t gcc ctc acc atc aca a Ala Leu Thr Ile Thr 75	
		c tgt gct cta tgg tac e Cys Ala Leu Trp Tyr 90	
		a ctg act gtc cta ggc s Leu Thr Val Leu Gly	

		10/ 20	
	100	105	110
gga ggc ggt Gly Gly Gly 115	Ser Gly Gly Gly G	gc tct ggc ggt ggc gga ly Ser Gly Gly Gly Gly 20 125	tcc gaa gtg 384 Ser Glu Val
aag ctg gtg Lys Leu Val 130	gag tcc ggg gga g Glu Ser Gly Gly G 135	gc tta gtg aag cct gga ly Leu Val Lys Pro Gly 140	ggg tcc ctg 432 Gly Ser Leu
		ga ttc act ttc agt tcc ly Phe Thr Phe Ser Ser 155	
		ag aag agg ctg gag tgg lu Lys Arg Leu Glu Trp 170	
		ac tat cca gac agt gtg yr Tyr Pro Asp Ser Val 185	
	Ser Arg Asp Asn A	cc agg aac atc ctg tac la Arg Asn Ile Leu Tyr 000 205	
		cg gcc att tat tac tgt Thr Ala Ile Tyr Tyr Cys 220	
		aa ggg act ctg gtc act In Gly Thr Leu Val Thr 235	
<210> 58 <211> 729 <212> DNA <213> Unkno <220> <223> scFv	own fragment Dx3150HL	_	
		gga cct ggc ctc gtg aaa Gly Pro Gly Leu Val Lys 10	
		gtc act ggc tac tcc atc Val Thr Gly Tyr Ser Ile 25	
		cag ttt cca gga aac aaa Gln Phe Pro Gly Asn Lys	

3	5	40		45	
				tac aac cca Tyr Asn Pro 60	
aaa aat c Lys Asn A 65	ga gtg tcc arg Val Ser	atc act cgt Ile Thr Arg 70	gac aca tct Asp Thr Ser 75	gag aac cag Glu Asn Gln	ttt ttc 240 Phe Phe 80
ctg aag t Leu Lys L	tg cat tct Leu His Ser 85	gtg act act Val Thr Thr	gag gac aca Glu Asp Thr 90	gct aca tat Ala Thr Tyr	tac tgt 288 Tyr Cys 95
gta agt t Val Ser T	tac ggt agt Tyr Gly Ser 100	cgg agg gga Arg Arg Gly	gtt acc tac Val Thr Tyr 105	tgg ggc caa Trp Gly Gln 110	ggt acc 336 Gly Thr
Thr Leu T	aca gtc tcc Thr Val Ser 115	tcc gga gga Ser Gly Gly 120	Gly Gly Ser	ggc gga ggt Gly Gly Gly 125	ggc tct 384 Gly Ser
ggc ggt g Gly Gly C 130	ggc gga tcc Gly Gly Ser	cag gct gtt Gln Ala Val 135	gtg act cag Val Thr Gln	g gaa tct gca 1 Glu Ser Ala 140	ctc acc 432 Leu Thr
aca tca c Thr Ser F 145	cct ggt gaa Pro Gly Glu	aca gtc aca Thr Val Thr 150	a ctc act tgt Leu Thr Cys 155	c cgc tca agt Arg Ser Ser S	act ggg 480 Thr Gly 160
gct gtt a Ala Val 1	aca act agt Thr Thr Ser 165	aac tat gcc Asn Tyr Ala	e aac tgg gto a Asn Trp Val 170	c caa gaa aaa 1 Gln Glu Lys	cca gat 528 Pro Asp 175
cat tta i His Leu I	ttc act ggt Phe Thr Gly 180	cta ata ggt Leu Ile Gly	t aat acc aac Asn Thr Asr 185	e aac cga gct n Asn Arg Ala 190	Pro Gly
Val Pro	gcc aga ttc Ala Arg Phe 195	tct ggc tcc Ser Gly Ser 200	r Leu Ile Gly	a gac aag gct y Asp Lys Ala 205	gcc ctc 624 Ala Leu
acc atc a Thr Ile 210	aca ggg gca Thr Gly Ala	cag act gag Gln Thr Glu 215	g gat gag gcg u Asp Glu Ala	g ata tat tto a Ile Tyr Phe 220	tgt gct 672 Cys Ala
ctt tgg Leu Trp 225	tac aac acc Tyr Asn Thr	cat ttg gtg His Leu Val 230	g ttc ggt gga 1 Phe Gly Gly 23	a gga acc aga y Gly Thr Arg 5	ctg act 720 Leu Thr 240
gtc cta Val Leu					729

<210 <211 <212 <213 <220	> 7 > I > U	59 732 DNA Jnkno	wn														
<223		scFv	frag	ment	Dx3	150L	Н										
	gct	59 gtt Val														4	<b>.</b> 8
		aca Thr														9	96
		gcc Ala 35														14	14
		ggt Gly														19	92
		tcc Ser														24	10
		gag Glu														28	88
		gtg Val														33	36
gga Gly	ggc Gly	ggt Gly 115	tca Ser	ggc Gly	gga Gly	ggt Gly	ggc Gly 120	tct Ser	ggc Gly	ggt Gly	ggc Gly	gga Gly 125	tcc Ser	gat Asp	gta Val	38	84
		cag Gln														43	32
		acc Thr														48	80
		tgg Trp			Gln					Lys					Gly	5	28

Tyr	ata Ile	agc Ser	tac Tyr 180	gac Asp	ggt Gly	tac Tyr	aat Asn	aat Asn 185	tac Tyr	aac Asn	cca Pro	ttt Phe	ctc Leu 190	aaa Lys	aat Asn	576
					cgt Arg											624
					act Thr											672
					gga Gly 230											720
	_	tcc Ser														732
<210 <211 <211 <221 <222 <22	1> : 2> : 3> : 0>	60 239 PRT Unkno Poly		ide (	enco	ded	by s	cFv :	fragi	ment	Dx38	360H	L			
	0> Val		Leu	Val 5	Glu	Ser	Gly	Gly	Gly 10	Leu	Val	Lys	Pro	Gly 15	Gly	
Glu 1	Val	Lys		5	Glu Cys				10					15		
Glu 1 Ser	Val Leu	Lys Lys	Leu 20	5 Ser		Ala	Ala	Ser 25	10 Gly	Phe	Thr	Phe	Ser 30	15 Ser	Tyr	
Glu 1 Ser Ala	Val Leu Met	Lys Lys Ser 35	Leu 20 Trp	5 Ser Val	Cys	Ala Gln	Ala Thr 40	Ser 25 Pro	10 Gly Glu	Phe Lys	Thr	Phe Leu 45	Ser 30 Glu	15 Ser Trp	Tyr Val	
Glu 1 Ser Ala Ala	Val Leu Met Ser 50	Lys Lys Ser 35 Phe	Leu 20 Trp Ser	5 Ser Val Asn	Cys Arg Gly	Ala Gln Gly 55	Ala Thr 40	Ser 25 Pro Thr	Gly Glu Tyr	Phe Lys Tyr	Thr Arg Pro 60	Phe Leu 45 Asp	Ser 30 Glu Ser	15 Ser Trp Val	Tyr Val	
Glu 1 Ser Ala Ala Gly 65	Val Leu Met Ser 50	Lys Ser 35 Phe	Leu 20 Trp Ser	5 Ser Val Asn Ile	Cys Arg Gly Ser	Ala Gln Gly 55 Arg	Ala Thr 40 Ile Asp	Ser 25 Pro Thr	Gly Glu Tyr Ala	Phe Lys Tyr Arg 75	Thr Arg Pro 60 Asn	Phe Leu 45 Asp	Ser 30 Glu Ser Leu	Ser Trp Val Tyr	Tyr Val Lys	
Glu 1 Ser Ala Ala Gly 65 Gln	Val Leu Met Ser 50 Arg	Lys  Ser 35  Phe  Thr	Leu 20 Trp Ser Thr	Ser Val Asn Ile Leu 85 Pro	Cys Arg Gly Ser	Ala Gln Gly 55 Arg	Ala Thr 40 Ile Asp	Ser 25 Pro Thr Asn	Glu Tyr Ala Thr 90	Phe Lys Tyr Arg 75 Ala	Thr Arg Pro 60 Asn	Phe Leu 45 Asp Ile	Ser 30 Glu Ser Leu Tyr	Ser Trp Val Tyr Cys 95 Thr	Tyr Val Lys Leu 80 Ala	
Glu 1 Ser Ala Ala Gly 65 Gln Arg	Leu Met Ser 50 Arg Met	Lys  Lys  Ser 35  Phe Thr	Leu 20 Trp Ser Thr Ser Gly 100 Gly	Ser Val Asn Ile Leu 85 Pro	Cys Arg Gly Ser 70 Arg	Ala Gln Gly 55 Arg Ser	Ala Thr 40 Ile Asp Glu Trp	Ser 25 Pro Thr Asn Asp Gly105 Gly	Glu Tyr Ala Thr 90 Gln	Phe Lys Tyr Arg 75 Ala	Thr Arg Pro 60 Asn Ile	Phe Leu 45 Asp Ile Tyr	Ser 30 Glu Ser Leu Tyr Val 110 Gly	Ser Trp Val Tyr Cys 95 Thr	Tyr Val Lys Leu 80 Ala	

23/28

135 140 130 Glu Thr Val Thr Leu Thr Cys Arg Ser Ser Thr Gly Ala Val Thr Thr 155 150 Leu Asn Tyr Ala Asn Trp Val Gln Glu Lys Pro Asp His Leu Phe Thr 170 175 165 Gly Leu Ile Gly Asn Thr Asn Asn Arg Ala Pro Gly Val Pro Ala Arg 185 190 180 Phe Ser Gly Ser Leu Ile Gly Asp Lys Ala Ala Leu Thr Ile Thr Gly 200 Ala Gln Thr Glu Asp Glu Ala Ile Tyr Phe Cys Ala Leu Trp Tyr Ser Asn His Leu Val Phe Gly Gly Gly Thr Lys Leu Thr Val Leu Gly 235 225 230 <210> 61 <211> 240 PRT <212> <213> Unknown <220> <223> Polypeptide encoded by scFv fragment Dx3860LH <400> 61 Gln Ala Val Val Thr Gln Glu Ser Ala Leu Thr Thr Ser Pro Gly Glu 15 5 Thr Val Thr Leu Thr Cys Arg Ser Ser Thr Gly Ala Val Thr Thr Leu 25 Asn Tyr Ala Asn Trp Val Gln Glu Lys Pro Asp His Leu Phe Thr Gly Leu Ile Gly Asn Thr Asn Asn Arg Ala Pro Gly Val Pro Ala Arg Phe 55 Ser Gly Ser Leu Ile Gly Asp Lys Ala Ala Leu Thr Ile Thr Gly Ala 70 65 Gln Thr Glu Asp Glu Ala Ile Tyr Phe Cys Ala Leu Trp Tyr Ser Asn 85 His Leu Val Phe Gly Gly Gly Thr Lys Leu Thr Val Leu Gly Ser Gly 105 Gly Gly Gly Ser Gly Gly Gly Ser Gly Gly Gly Ser Glu Val 125 115 120

24/28

Lys Leu Val Glu Ser Gly Gly Gly Leu Val Lys Pro Gly Gly Ser Leu 130 Lys Leu Ser Cys Ala Ala Ser Gly Phe Thr Phe Ser Ser Tyr Ala Met 145 150 Ser Trp Val Arg Gln Thr Pro Glu Lys Arg Leu Glu Trp Val Ala Ser 170 Phe Ser Asn Gly Gly Ile Thr Tyr Tyr Pro Asp Ser Val Lys Gly Arg Phe Thr Ile Ser Arg Asp Asn Ala Arg Asn Ile Leu Tyr Leu Gln Met 195 205 Thr Ser Leu Arg Ser Glu Asp Thr Ala Ile Tyr Tyr Cys Ala Arg Gly 210 215 220 Tyr Gly Pro Ala Tyr Trp Gly Gln Gly Thr Leu Val Thr Val Ser Ala 230 235 <210> 62 <211> 243 <212> PRT <213> Unknown <220> <223> Polypeptide encoded by scFv fragment Dx3150HL <400> 62 Asp Val Gln Leu Gln Glu Ser Gly Pro Gly Leu Val Lys Pro Ser Gln Ser Leu Ser Leu Thr Cys Ser Val Thr Gly Tyr Ser Ile Thr Ser Gly Phe Tyr Trp Asn Trp Ile Arg Gln Phe Pro Gly Asn Lys Leu Glu Trp 35 45 Met Gly Tyr Ile Ser Tyr Asp Gly Tyr Asn Asn Tyr Asn Pro Phe Leu Lys Asn Arg Val Ser Ile Thr Arg Asp Thr Ser Glu Asn Gln Phe Phe Leu Lys Leu His Ser Val Thr Thr Glu Asp Thr Ala Thr Tyr Tyr Cys

Val Ser Tyr Gly Ser Arg Gly Val Thr Tyr Trp Gly Gln Gly Thr

Thr Leu Thr Val Ser Ser Gly Gly Gly Gly Ser Gly Gly Gly Ser

120

110

125

100

115

25/28

Gly Gly Gly Ser Gln Ala Val Val Thr Gln Glu Ser Ala Leu Thr 135 Thr Ser Pro Gly Glu Thr Val Thr Leu Thr Cys Arg Ser Ser Thr Gly 150 155 Ala Val Thr Thr Ser Asn Tyr Ala Asn Trp Val Gln Glu Lys Pro Asp 170 His Leu Phe Thr Gly Leu Ile Gly Asn Thr Asn Asn Arg Ala Pro Gly Val Pro Ala Arg Phe Ser Gly Ser Leu Ile Gly Asp Lys Ala Ala Leu 200 Thr Ile Thr Gly Ala Gln Thr Glu Asp Glu Ala Ile Tyr Phe Cys Ala 215 220 Leu Trp Tyr Asn Thr His Leu Val Phe Gly Gly Gly Thr Arg Leu Thr 240 230 235 Val Leu Gly <210> 63 <211> 244 <212> PRT <213> Unknown <220> <223> Polypeptide encoded by scFv fragment Dx3150LH <400> 63 Gln Ala Val Val Thr Gln Glu Ser Ala Leu Thr Thr Ser Pro Gly Glu Thr Val Thr Leu Thr Cys Arg Ser Ser Thr Gly Ala Val Thr Thr Ser 30 Asn Tyr Ala Asn Trp Val Gln Glu Lys Pro Asp His Leu Phe Thr Gly Leu Ile Gly Asn Thr Asn Asn Arg Ala Pro Gly Val Pro Ala Arg Phe 55 Ser Gly Ser Leu Ile Gly Asp Lys Ala Ala Leu Thr Ile Thr Gly Ala Gln Thr Glu Asp Glu Ala Ile Tyr Phe Cys Ala Leu Trp Tyr Asn Thr 85 His Leu Val Phe Gly Gly Gly Thr Arg Leu Thr Val Leu Gly Ser Gly 100 105 110

Gly Gly Gly Ser Gly Gly Gly Gly Ser Gly Gly Gly Ser Asp Val 115 120 125

Gln Leu Gln Glu Ser Gly Pro Gly Leu Val Lys Pro Ser Gln Ser Leu 130 135 140

Ser Leu Thr Cys Ser Val Thr Gly Tyr Ser Ile Thr Ser Gly Phe Tyr 145 150 155 160

Trp Asn Trp Ile Arg Gln Phe Pro Gly Asn Lys Leu Glu Trp Met Gly 165 170 175

Tyr Ile Ser Tyr Asp Gly Tyr Asn Asn Tyr Asn Pro Phe Leu Lys Asn 180 185 190

Arg Val Ser Ile Thr Arg Asp Thr Ser Glu Asn Gln Phe Phe Leu Lys 195 200 205

Leu His Ser Val Thr Thr Glu Asp Thr Ala Thr Tyr Tyr Cys Val Ser 210 215 220

Tyr Gly Ser Arg Arg Gly Val Thr Tyr Trp Gly Gln Gly Thr Thr Leu 225 230 235 240

Thr Val Ser Ser

<210> 64

<211> 114

<212> PRT

<213> Unknown

<220>

<223> Polypeptide of V<sub>H</sub>-chain variant (HL-M#5) of monoclonal antibody Dx 3860

<400> 64

Glu Val Lys Leu Val Glu Ser Gly Gly Gly Leu Val Lys Pro Gly Gly
1 5 10 15

Ser Leu Lys Leu Ser Cys Ala Ala Ser Gly Phe Thr Phe Ser Ser Tyr 20 25 30

Ala Met Ser Trp Val Arg Gln Thr Pro Glu Lys Arg Leu Glu Trp Val 35 40 45

Ala Ser Ile Ser Asn Gly Gly Ile Thr Tyr Tyr Pro Asp Ser Val Lys 50 55 60

Gly Arg Phe Thr Ile Ser Arg Asp Asn Ala Arg Asn Ile Leu Tyr Leu 65 70 75 80

Gln Met Thr Ser Leu Arg Ser Glu Asp Thr Ala Ile Tyr Tyr Cys Ala

27/28

85 90 95

Arg Gly Tyr Gly Pro Ala Tyr Trp Gly Gln Gly Thr Leu Val Thr Val
100 105 110

Ser Ser

<210> 65

<211> 114

<212> PRT

<213> Unknown

<220>

<223> Polypeptide of V<sub>H</sub>-chain variant (LH-M#1) of monoclonal antibody Dx 3860

<400> 65

Glu Val Lys Leu Val Glu Ser Gly Gly Gly Leu Val Arg Pro Gly Gly 1 5 10 15

Ser Leu Lys Leu Ser Cys Ala Ala Ser Gly Phe Thr Phe Ser Ser Tyr 20 25 30

Ala Met Ser Trp Val Arg Gln Thr Pro Glu Lys Arg Leu Glu Trp Val 35 40 45

Ala Ser Leu Ser Asn Gly Gly Ile Thr Tyr Tyr Pro Asp Ser Val Lys 50 55 60

Gly Arg Phe Thr Ile Ser Arg Asp Asn Ala Arg Asn Ile Leu Tyr Leu 65 70 75 80

Gln Met Thr Ser Leu Arg Ser Glu Asp Thr Ala Ile Tyr Tyr Cys Ala 85 90 95

Arg Gly Tyr Gly Pro Ala Tyr Trp Gly Gln Gly Thr Leu Val Thr Val 100 105 110

Ser Ala

<210> 66

<211> 114

<212> PRT

<213> Unknown

<220>

<223> Polypeptide of V<sub>H</sub>-chain variant (LH-M#2) of monoclonal antibody Dx 3860

<400> 66

Glu Val Lys Leu Val Glu Ser Gly Gly Gly Leu Val Lys Pro Gly Gly 1 5 10 15

28/28

Ser Leu Lys Leu Ser Cys Ala Ala Ser Gly Phe Thr Phe Ser Ser Tyr 20 25 30

Ala Met Ser Trp Val Arg Gln Thr Pro Glu Lys Arg Leu Glu Trp Val 35 40 45

Ala Ser Val Ser Asn Gly Gly Ile Thr Tyr Tyr Pro Asp Ser Val Lys 50 55 60

Gly Arg Phe Thr Ile Ser Arg Asp Asn Ala Arg Asn Ile Leu Tyr Leu 65 70 75 80

Gln Met Thr Ser Leu Arg Ser Glu Asp Thr Ala Ile Tyr Tyr Cys Ala 85 90 95

Arg Gly Tyr Gly Pro Ala Tyr Trp Gly His Gly Thr Leu Val Thr Val 100 105 110

Ser Ala

<210> 67

<211> 114

<212> PRT

<213> Unknown

<220>

<223> Polypeptide of V<sub>H</sub>-chain variant (LH-M#3) of monoclonal antibody Dx 3860

<400> 67

Glu Val Lys Leu Val Glu Ser Gly Gly Gly Leu Val Lys Pro Gly Gly
1 5 10 15

Ser Leu Lys Leu Ser Cys Ala Ala Ser Gly Phe Thr Phe Ser Ser Tyr 20 25 30

Ala Met Ser Trp Val Arg Gln Thr Pro Glu Lys Arg Leu Glu Trp Val 35 40 45

Ala Ser Leu Ser Asn Gly Gly Ile Thr Tyr Tyr Pro Asp Ser Val Lys 50 55 60

Gly Arg Phe Thr Ile Ser Arg Asp Asn Ala Arg Asn Val Leu Tyr Leu 65 70 75 80

Gln Met Thr Ser Leu Arg Ser Glu Asp Thr Ala Ile Tyr Tyr Cys Ala 85 90 95

Arg Gly Tyr Gly Pro Ala Tyr Trp Gly Gln Gly Thr Leu Val Thr Val 100 105 110

Ser Ala

### INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2004/004355

A.	CLASSIFICATION	OF SUBJECT MATTER

Int.Cl<sup>7</sup> C07K16/44, C12N15/13, C12N1/21, C12N1/19, C12N1/15, C12N5/10, C12P21/08, G01N33/53, G01N33/577

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl<sup>7</sup> C07K16/44, C12N15/13, C12N1/21, C12N1/19, C12N1/15, C12N5/10,

C12P21/08, G01N33/53, G01N33/577

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)
REGISTRY(STN), CA(STN), JSTPlus(JOIS), GenBank/EMBL/DDBJ/GeneSeq,
SwissProt/PIR/GeneSeq

#### C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
х	JP 2002-119279 A (Zaidan Hojin Shokuhin Yakuhin Anzen Center), 23 April, 2002 (23.04.02), (Family: none)	1-10
x	STANKER, L.H. et al., Monoclonal antibodies for dioxin: antibody characterization and assay development. Toxicology 1987, Vol.45, No.3, pages 229 to 243	1-10
х	Naoya OMURA et al, "Dioxin-rui no Jinsoku Kan'i Sokutei Men'eki Sokutei(Immunoassay)-ho, Environmental Management, 10 March, 2003 (10.03.03), Vol.39, No.3, pages 251 to 256	1-10

	Further documents are listed in the continuation of Box C.		See patent family annex.
*	Special categories of cited documents:	"T"	later document published after the international filing date or priority
"A"	document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance		date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"E"	earlier application or patent but published on or after the international filing date	"X"	document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive
"L"	document which may throw doubts on priority claim(s) or which is		step when the document is taken alone
	cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"Y"	document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is
"O"	document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means		combined with one or more other such documents, such combination
"P"	document published prior to the international filing date but later than	"	being obvious to a person skilled in the art
	the priority date claimed	"&"	document member of the same patent family
Date	of the actual completion of the international search	Date	e of mailing of the international search report
	08 June, 2004 (08.06.04)		22 June, 2004 (22.06.04)
ŀ			
·		1	<u></u>
Nam	e and mailing address of the ISA/	Aut	horized officer
	Japanese Patent Office		
1			
Facsi	imile No	Tele	ephone No.
Form	PCT/ISA/210 (second sheet) (January 2004)		

#### 国際調査報告

### A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))

Int. C1<sup>7</sup> CO7K 16/44, C12N 15/13, C12N 1/21, C12N 1/19, C12N 1/15, C12N 5/10, C12P 21/08, G01N 33/53, G01N 33/577

### B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int. C1' C07K 16/44, C12N 15/13, C12N 1/21, C12N 1/19, C12N 1/15, C12N 5/10, C12P 21/08, G01N 33/53, G01N 33/577

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

REGISTRY (STN), CA (STN), JSTPlus (JOIS), GenBank/EMBL/DDBJ/GeneSeq, SwissProt/PIR/GeneSeq

### C. 関連すると認められる文献

引用文献の	コロナギタ ひょく かの体示が明神ナスしきみ その明神ナス体示の生子	関連する 請求の範囲の番号
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	明みい地面の街方
х	JP 2002-119279 A(財団法人食品薬品安全センター)2002.04.23 (ファミリーなし)	1–10
Х	STANKER, L. H. et al. Monoclonal antibodies for dioxin: antibody characterization and assay development. Toxicology 1987, Vol. 45, No. 3, p. 229-243	1-10
Х	大村 直也 他, ダイオキシン類の迅速・簡易測定 免疫測定 (イムノアッセイ) 法 環境管理 2003. Mar. 10, Vol. 39, No. 3, p. 251-256	1-10

### - C欄の続きにも文献が列挙されている。

□ パテントファミリーに関する別紙を参照。

- \* 引用文献のカテゴリー
- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す もの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献(理由を付す)
- 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

- の日の後に公表された文献
- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

08.06.2004

国際調査報告の発送日

22. 6. 2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP). 郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員) 高堀 栄二 4B 9281

電話番号 03-3581-1101 内線 3448